

ハモンドオルガン XE-1 ガイドブック



このガイドブックは、XE-1の基本的な使い方を説明したものです。このガイドブックに記されていない機能や使い方は別冊の取扱説明書をご覧ください。

 **HAMMOND**

ごあいさつ

このたびは、ハモンドオルガンXE-1をお選びくださりまして誠にありがとうございます。
ございます。

XE-1は1934年、ローレンス・ハモンドにより1号機モデルA型を発表して以来、60年余りもの間、世界中の多くのミュージシャンに愛用され、様々なミュージックシーンで演奏され続けてきた伝統のハモンドサウンドを新開発VASEII+DRBシステムで再現し、最新のDSPテクノロジーによって誕生したデジタル・レスリーを搭載した新世代のハモンドオルガンです。本製品はお好みのオルガンサウンド作りからMIDIコントロールにいたるまでの多機能にもかかわらず、コンパクトかつ使いやすく設計された製品です。

より多くの演奏者にハモンドサウンドを愛していただくことを願い、XE-1をお届けいたします。

XE-1の優れた機能を十分に発揮いただき、末長くご愛用いただくため、ご使用前にこのガイドブックならびに取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

目次

安全上のご注意	1	特別な使い方	
使用上のご注意	3	1. スプリット機能	23
各部の名称とはたらき	4	2. オクターブの設定	24
演奏する前に		3. 移調（トランスポーズ）の設定	
1. 電源を入れるには	8	よく使う音はプリセットしておこう	
2. 電源のオン / オフ		1. プリセットに記憶するには	25
3. 音量の調整		2. 記憶した音色に名前を付けるには	26
4. 初期設定について	9	3. プリセットに記憶した音色を鳴らすには	27
5. 付属鍵盤について		リズム機能の使い方	
ピアノの音を出してみよう		1. 4/4 マーチを鳴らしてみよう	28
1. 音色の設定（ピアノの音を出す場合）	10	2. 音量・テンポの調整	29
2. オーケストラボイス（内蔵音色）の紹介	12	3 効果的な活用方法	
3. 効果音について		A. イントロ・エンディングをつける	30
オルガンの音を出してみよう		B. タッチテンポ機能	
1. ドローバーについて	14	4. 自動伴奏機能について	31
2. ドローバーの基本的な使い方		ディスクシーケンサーの操作	
3. ドローバーの組み合わせ例	15	1. 自分の演奏を録音してみよう	33
音を変化させてみよう		2. 録音した演奏をフロッピーディスクに保存しよう	38
1. 主なエフェクト（効果）機能		3. フロッピーディスクの読み込み	41
サステイン効果	16	4. 演奏を聴いてみよう	42
リバーブ効果	17	5. いっしょに歌って（演奏して）みよう	43
コーラス効果	18	巻末リスト	
デュエット効果	20	1. オーケストラボイス（内蔵音色）リスト	44
2. ホイールの使い方	22	2. サウンドエフェクト（効果音）リスト	47
ピッチベンド		3. ドラムセットリスト	48
モジュレーション		4. リズムスタイルリスト	49
		仕様	51

安全上のご注意



警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。



警告



電源は必ず交流100Vでご使用ください。

交流100V以外の電圧でご使用になると、火災や感電の恐れがあります。



異常を感じたら電源を切ってください。

万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡ください。異常状態でのご使用は火災・感電の原因となります。



改造・分解は危険です。

改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



濡れた手で触れないでください。

濡れた手で電源プラグ・コードおよび本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



湿気の多い場所は避けてください。

水分や湿気の多い場所では絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



異物が入ったときは、電源プラグを抜いてください。

楽器に異物(硬貨や針金)や液体(水やジュースなど)を入れないようにしてください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。万一、異物が内部に入ったときは直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡ください。

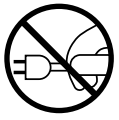


ホコリっぽい場所は避けてください。

ホコリの多い場所での使用は避けてください。故障や発火の原因になることがあります。

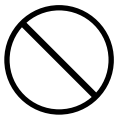
また電源プラグにホコリがついている場合、そのまま使用すると感電などの原因となりますのでホコリを拭き取ってから使用してください。

 **警告**

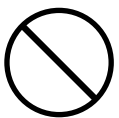
**コードは引っ張らないでください。**

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。また電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードではなく、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが傷つき、感電などの原因になり大変危険です。

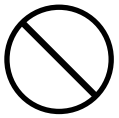
 **注意**

**熱くなる場所を避けてください。**

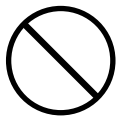
自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用、保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。

**衝撃を与えないでください。**

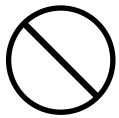
製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく故障の原因になります。

**製品の上に乗ったり、重いものをのせないでください。**

本体が破損する原因にもなりますし、製品が転倒したりしてお客様がケガをする危険性があります。

**不安定な場所に置かないでください。**

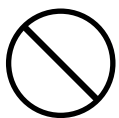
製品を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下して、お客様が思わぬケガをする危険性があります。

**移動の際には接続ケーブルをすべて外してください。**

移動させるときは電源プラグなど、接続ケーブルはすべて外してください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

**使わないときは電源プラグを抜いてください。**

ご使用の後は電源スイッチを切ってください。長時間演奏しないときは、楽器保護のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

**お手入れはやわらかい布で。**

お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。

**製品の移動は大人二人以上で。**

製品を移動する際には、必ず大人二人以上でおこなってください。

使用上のご注意

●使用環境のご注意

直射日光の当たる所、暖房器具のすぐ近く、湿気やホコリの多いところでの使用は避けてください。この製品は、常温の屋内で使用するように設計されています。屋外で使用される場合には、(1) 雨がかからない場所 (2) 強風が吹かないところ (3) 極端な温度変化のない場所に設置してください。

●据付場所

設置、据付の前に取扱説明書をよくお読みください。

平らで安定した場所への設置、据付をしてください。不安定な場所への設置、据付は絶対にしないでください。火災、地震の際にはオルガンに近づかないようにしてください。

●使用される前のご注意

使用される前には必ず取扱説明書をお読みください。

電源コードは、定格電圧100V 50/60Hzの電源プラグにしっかりと差し込んで使用してください。コードを引っ張って抜かないで、必ず根元の部分を持って抜いてください。

電源コードを電源プラグに差し込む場合には必ず本体の電源をオフにしてください。また濡れた手で電源コードをさわりますと、感電する恐れがありたいへん危険です。

長期間ご使用にならない場合には、電源コードを電源プラグから抜いておいてください。

外部機器（例えばレスリースピーカー、MIDI機器）を接続して使用する場合にも、必ず本体の電源をオフにしてください。接続するレスリースピーカー、MIDI機器の電源もオフにしてください。

●用途以外の使用禁止

本機の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

転倒や落下の恐れがありたいへん危険です。

●使用方法

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

本体、各種装備、または内部電子部品を改造しないでください。

もし改造された場合は非常に危険です。正常動作の保証はいたしません。

●保守

キャビネット、鍵盤等を汚れていない乾いた布などでふき、本機を常に清潔にしてください。

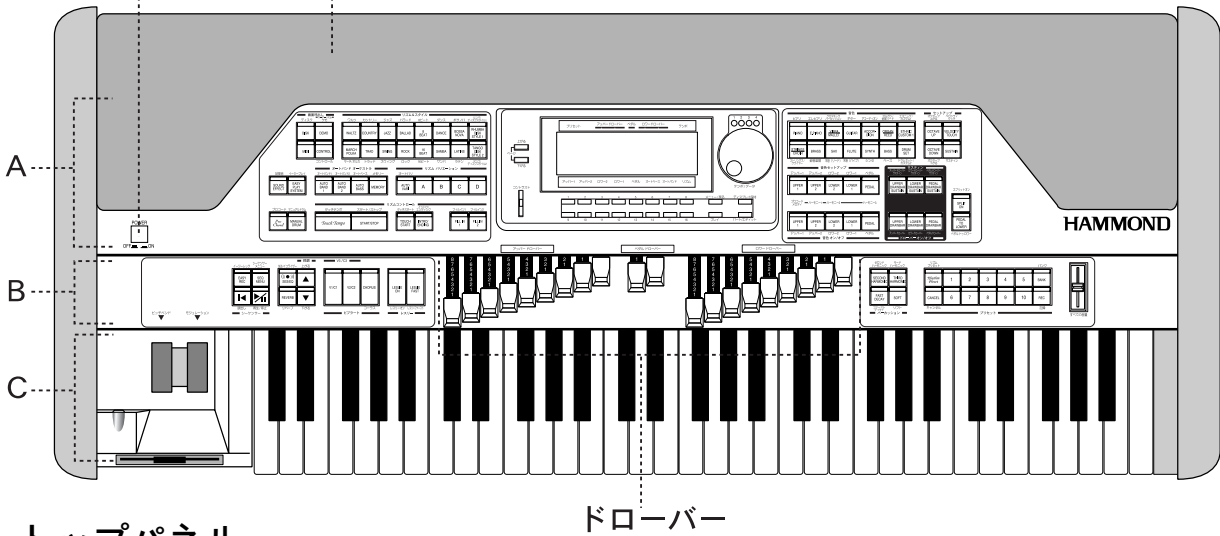
アルコール、ベンジン、シンナー等は製品をいためる恐れがあります。

●異常時の処置

異音、異臭等が発生した場合には、本体の電源を切り、すみやかに専門のサービス員に点検を依頼してください。絶対に内部の電子機器に触れないでください。感電する恐れがあります。

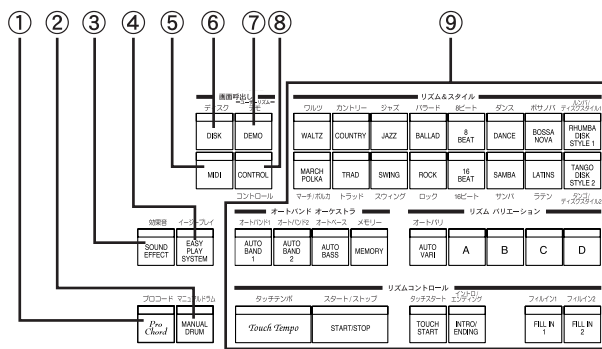
各部の名称とはたらき フロントパネル

電源スイッチ スピーカー



A. トップパネル

◆左側のスイッチ群



①プロコードスイッチ

アッパー（上）鍵盤で演奏する単音のメロディーに本格的にアレンジされたハーモニーを加えたい場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

②マニュアルドラムスイッチ

ロウアー（下）鍵盤またはオプションの足鍵盤で、単一のリズム音を発音する場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

③効果音スイッチ

効果音を鳴らしたい場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

④イージープレイシステムスイッチ

ロウアー（下）鍵盤を最小の指で押さえるだけでコード演奏をする場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

⑤MIDIスイッチ

MIDI機能の設定をおこなう場合に使用します。詳しいことに関しましては、取扱説明書p119～をご覧ください。

⑥ディスクスイッチ

フロッピーディスクに関連する操作をする場合に使用します。

⑦デモ演奏スイッチ

デモ演奏を再生したり、ユーザーリズムを呼び出す場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。詳しいことに関しましては取扱説明書p159～をご覧ください。

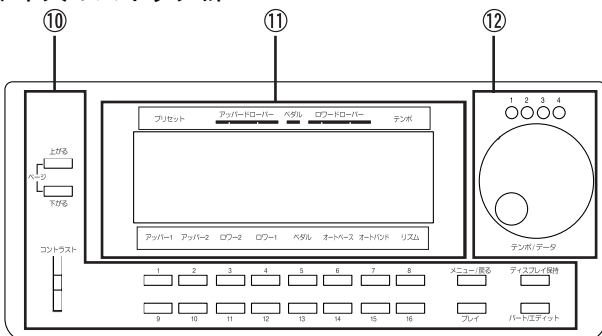
⑧コントロールスイッチ

ピッチバンド/モジュレーションホイール、エクスプレッションペダル等のコントローラーの設定をおこなう際に使用します。

⑨リズム関連スイッチ

リズムに関する設定を行う際に使用します。

◆中央のスイッチ群



⑩ディスプレイ選択スイッチ

ディスプレイ上の表示を選択する場合に使用します。

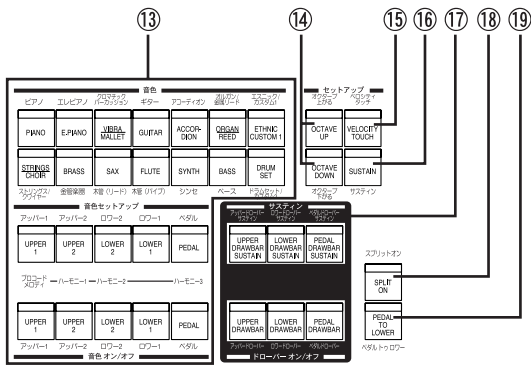
⑪ディスプレイ

本機の各種状態が表示され、多くの操作はこのディスプレイを使っておこないます。

⑫テンポつまみ

リズムやシーケンサーのテンポを設定する際に使用します。

◆右側のスイッチ群



⑬音色関連スイッチ

音色に関連する設定をおこなう際に使用します。

⑭オクターブスイッチ

音の高さをオクターブ単位で上げたり下げたりする場合に使用します。標準（8フィート）より1オクターブ高い（また

は低い）場合はランプが点灯、2オクターブ高い（または低い）場合にはランプが点滅します。

⑮ペロシティタッチスイッチ

鍵盤を弾く強さで音に変化をつけたい場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

⑯サスティンスイッチ

鍵盤から指をはなしたあと余韻を残したい場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

⑰ドロワー関連スイッチ

ドロワーサウンドを使う場合に使用します。

⑱スプリットオンスイッチ

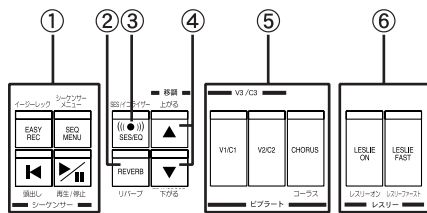
鍵盤をスプリット（区分け）して演奏したい場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

⑲ペダルトゥロワースイッチ

ロワー（下）鍵盤で足鍵盤のパートを演奏する場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

B. ドロワーパネル

◆左側のスイッチ群



①シーケンサー関連スイッチ

シーケンサー機能のコントロールに使用します。

②リバーススイッチ

音色にリバース（残響）を加える場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

③SES/イコライザースイッチ

音に広がりを持たせたり、演奏場所に合わせた音質にしたりする場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。詳しいことに関しては、取扱説明書p96~をご覧ください。

④移調スイッチ

機器全体を移調する場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。

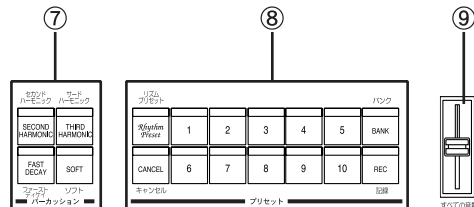
⑤ドロワー・ビブラート/コーラススイッチ

ドロワーのビブラート量、コーラス量を調節する場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。詳しいことに関しては、取扱説明書p28をご覧ください。

⑥レスリー関連スイッチ

内蔵デジタルレスリーまたはオプションのレスリースピーカーに関する設定をする場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。詳しいことに関しては、取扱説明書p30をご覧ください。

◆右側のスイッチ群



⑦パーカッション・コントロールスイッチ

アップアードロワーにパーカッションサウンドを加える場合に使用します。スイッチがオンのときランプが点灯します。詳しいことに関しては、取扱説明書p25~をご覧ください。

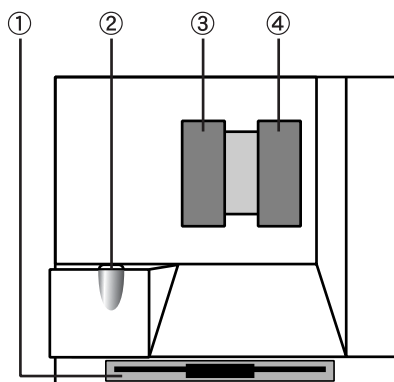
⑧プリセット関連スイッチ

各鍵盤の音色やスイッチの状態をあらかじめ記憶しておき、瞬時にそれらの切り替えをおこなうのに使用します。

⑨主音量スライダー

鍵盤、リズムなどすべての音量をコントロールします。

C. エンドブロック



① フロッピーディスク挿入口

フロッピーディスク (2DD、2HD の 3.5 インチ) を挿入します。

② ヘッドホン接続端子

ヘッドホンを接続します。スピーカーからの音は消えます。

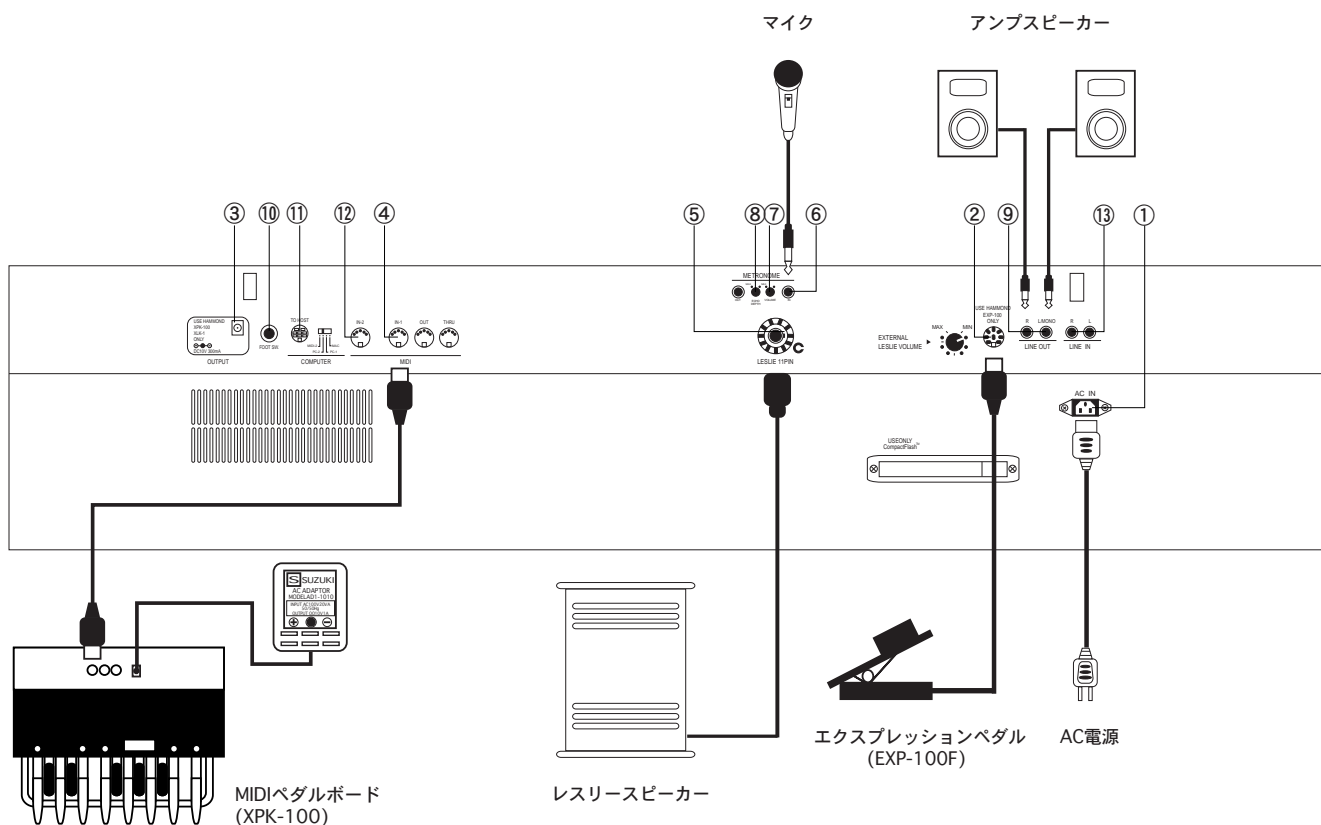
③ ピッチベンドホイール

フレーズ中で鍵盤のピッチを変化させたい場合に使用します。

④ モジュレーションホイール

オーケストラボイス (内蔵音色) のビブラート (またはトレモロ量) をコントロールします。

各部の名称とはたらき リアパネル



①電源接続端子

同梱のAC電源コードの接続に使用します。

②エクスプレッションペダル接続端子

同梱のエクスプレッションペダル (EXP-100F) の接続に使用します。

③電源接続端子

XPK-100等の電源の接続に使用します。

④足鍵盤 (XPK-100) 接続端子

XPK-100の接続に使用します。

MIDIケーブルの一端をこの端子に差し込み、もう一端を足鍵盤のMIDI OUT端子に差し込んで接続します。

⑤レスリースピーカー接続端子

レスリースピーカーの接続に使用します。

コネクタケーブルのオス側をこの端子に差し込み、メス側をレスリースピーカーの後部にある端子に差し込んで接続します。

⑥マイク接続端子

マイクをこの端子に接続すると、XE-1のスピーカーとアンプをPAシステムとして使用することができます。

⑦マイク音量調節つまみ

マイクの音量を調節します。

⑧マイクエコー音量つまみ

マイクのエコー音量を調節します。

⑨アンプスピーカー接続端子

アンプスピーカーの接続に使用します。

ケーブルの両端に1/4インチプラグを持つ、2本のオーディオケーブルの一端をこの端子に差し込み、もう一端をアンプスピーカーの1/4インチメスオーディオ入力端子に差し込んで接続します。

※ アンプスピーカーに、1/4インチメス型コネクタが一つしか装備されていない場合、ケーブルの一端をXE-1のL/MONO端子に接続し、もう一端をアンプスピーカーの1/4インチメス型オーディオ入力端子に差し込みます。

⑩フットスイッチ接続端子

フットスイッチ (FS-9H) を接続する際に使用します。

フットスイッチの接続は必ず電源を切った状態でおこなってください。(極性の判定が電源投入時におこなわれるためです)

⑪パソコン接続端子

パソコンを接続する際に使用します。

コンピュータの接続及びスイッチの切り替えは必ず電源を切った状態でおこなってください。

(種類の判定が電源投入時におこなわれるためです)

⑫他のMIDI接続端子

MIDI互換機器と接続する際に使用します。詳しいことに関しては、取扱説明書p140~をご覧ください。

⑬外部音源接続端子

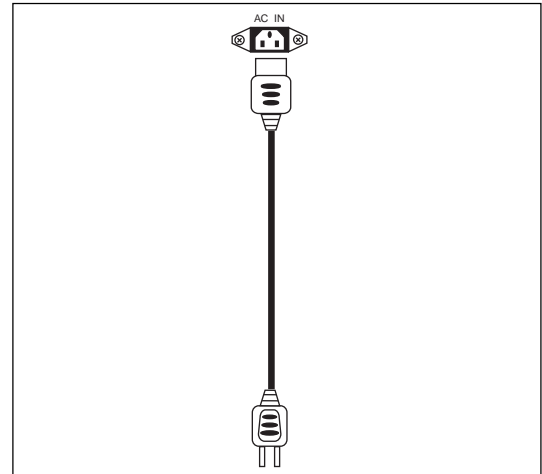
CDプレーヤーや音源モジュールといった外部音源を接続する際に使用します。

演奏する前に

1. 電源を入れるには

XE-1に同梱のAC電源コードを接続します。

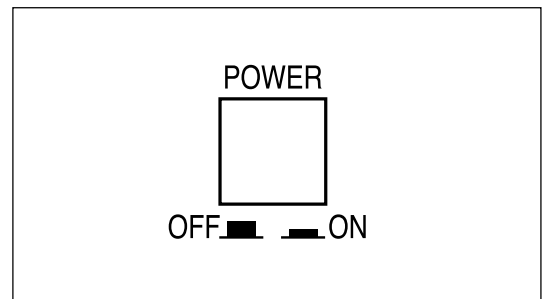
- ①XE-1の背面にある「AC IN」とマークされている端子に、電源コードのメス側端子を差し込みます。
- ② AC電源コンセント（100V）に、もう一端を差し込みます。



2. 電源のON/OFFについて

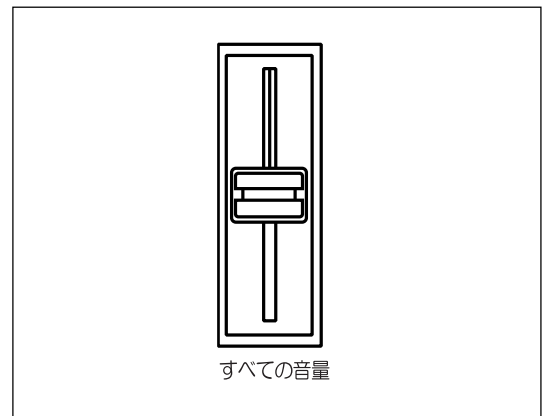
トップパネルの一番左側に電源スイッチ【POWER】があります。

このスイッチボタンが「ON」の位置（押し込まれた状態）にあるとき、いくつかのスイッチと中央上部のディスプレイが点灯し、「ON」になっていることがわかります。



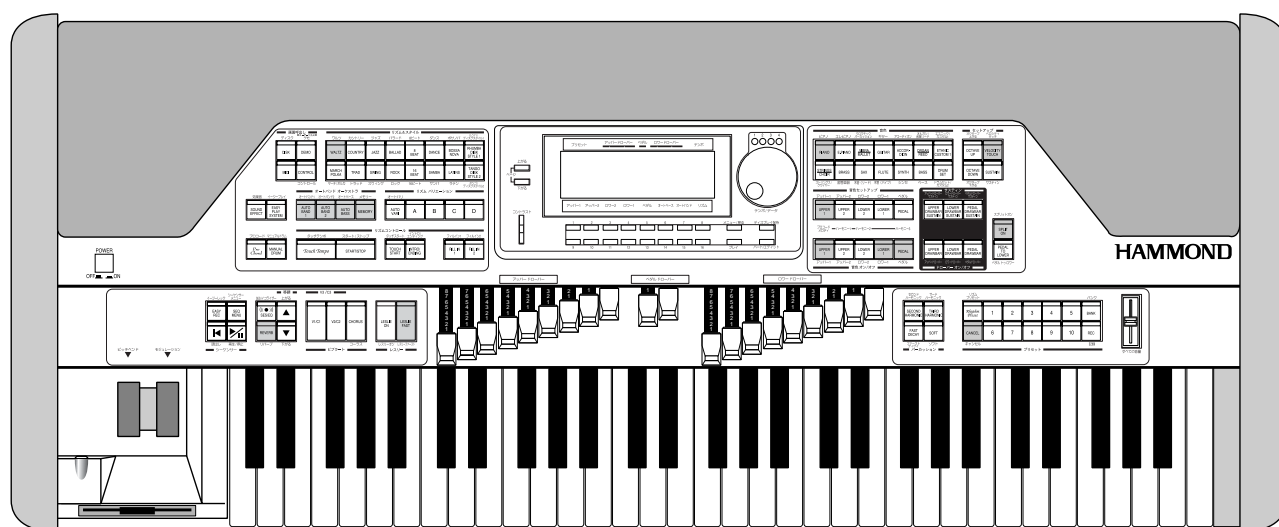
3. 音量の調整

ドローパーパネルの一番右側にある主音量スライダー【すべての音量】を使って、XE-1全体総合または最大音量をコントロールすることができます。音量を上げるには奥へ、下げるには手前にスライダーさせます。

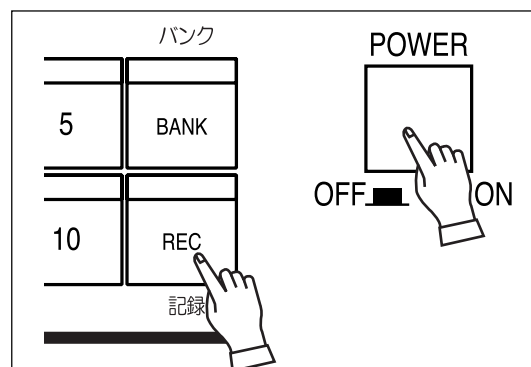


4. 初期設定について

ご購入いただいて初めて電源を「ON」にされた場合には、下図の通りにスイッチが点灯します。その後お使いいただき、一度電源を「OFF」にし再度電源を「ON」にされた場合は、「OFF」にされる寸前の設定を記憶しています。

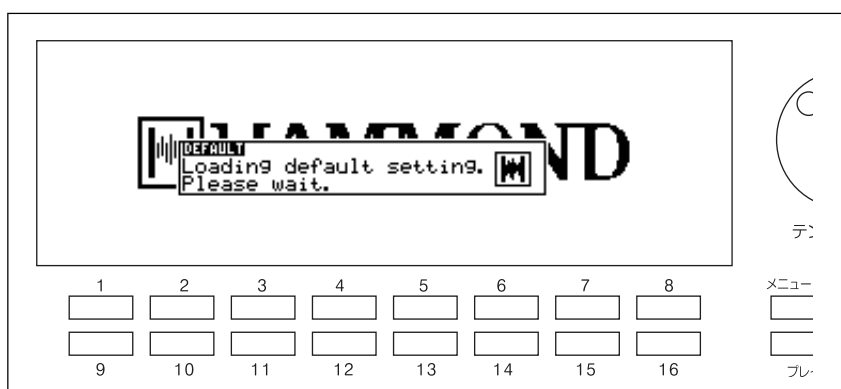


初期設定に戻されたい場合には、【記録】スイッチを押しながら電源を入れ、下の画面が表示されるまで【記録】スイッチを押し続けてください。



※注意

この表示が出ている間は電源を切らないでください。



5. 足鍵盤について

XE-1の鍵盤は一段ですが、二段の手鍵盤や足鍵盤を持つオルガンと同様に使うことができます。オルガンでは普通、右手でアッパー（上）鍵盤を使ってメロディーを演奏し、左手でロー（下）鍵盤を使って伴奏もしくはメロディーのハーモニーサポートをします。

またペダル（足）鍵盤は左足でベースの演奏をします。

XE-1では、一つの鍵盤を二つのパートに「スプリット」（区分け）してこの演奏を可能にすることができますが（スプリット機能に関する詳しい説明はp23をご覧ください）、別売のペダル鍵盤（XPK-100）を接続することで足鍵盤の演奏も楽しむことができます。

※ペダル鍵盤の接続方法についてはp7をご覧ください。

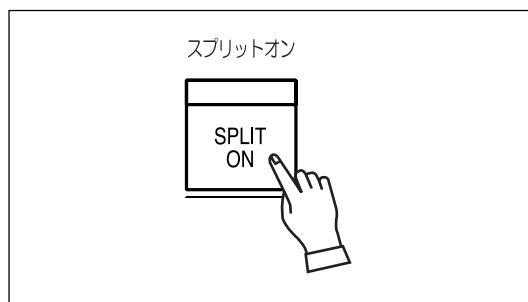
ピアノの音を出してみよう

1. 音色の設定（ピアノの音を出す場合）

1 スプリット機能をオフにする

【スプリット オン】スイッチのランプが付いていないことを確認します。

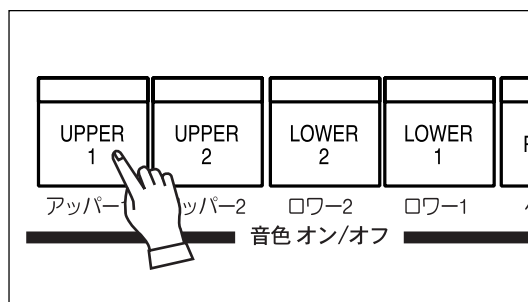
※ 初期設定ではオンになっていますのでスイッチを押し、ランプの点灯を消して下さい。



2 「音色オン/オフ」スイッチをオンにする

【音色オン/オフ】グループのなかの【アッパー1】スイッチを押し、ランプを点灯させます。

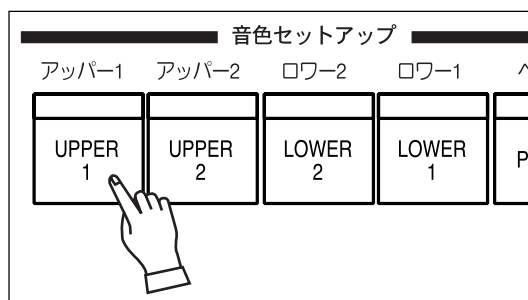
※ 初期設定では、電源を入れた状態で点灯するようになっています。



3 「音色セットアップ」スイッチをオンにする

【音色セットアップ】グループのなかの【アッパー1】スイッチを押し、ランプ点灯させます。

※ 初期設定では電源を入れた状態で点灯するようになっています。

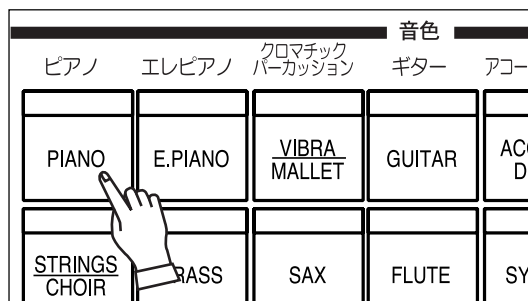


4 音色を選択する（1）

14個の音色選択スイッチのなかから音色を選び、スイッチを押します。

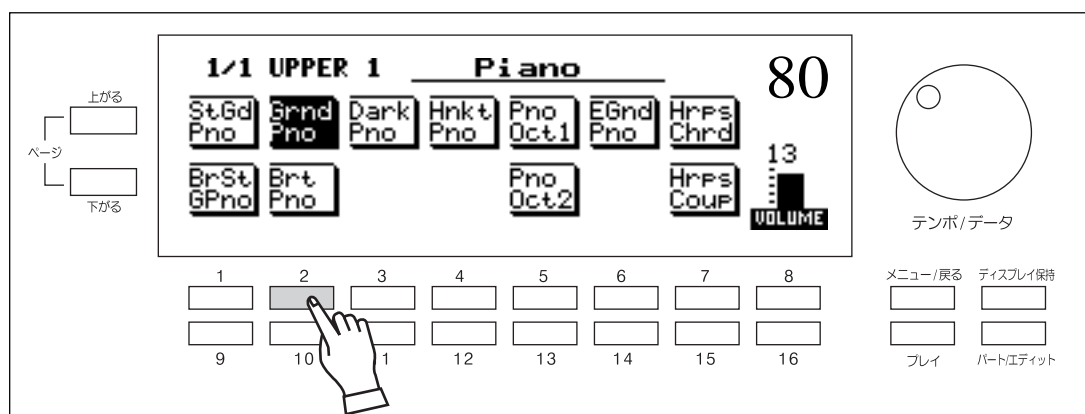
ピアノの音色を使いたい場合は、【ピアノ】のスイッチを押すとランプが点灯し、ピアノ系の音色が選択されます。

※ 初期設定では電源を入れた状態で【ピアノ】のスイッチが点灯するようになっています。



5 音色を選択する（2）

音色選択スイッチを押すとディスプレイが音色選択画面（下図）になります。



ピアノを選択していると中央の上部分に「Piano」と表示された画面になります。

画面に表示されたさらに細かく分類された音色のなかから使いたい音色を選びます。画面の音色表示はその下にある数字付きタッチボタンと対応して配置されていますので、例えばグランドピアノを選ぶ場合には2番のボタンを押します。

選択された音色（この場合はGrnd Pno）は白黒反転して表示されます。

※ 音色選択画面は表示され8秒間経つと前の画面に戻ります。そのまま画面を見続けたい場合には、ディスプレイパネル内にある【ディスプレイ保持】ボタンを押します。ディスプレイ保持をやめたい場合にはもう一度ボタンを押します。

※ディスプレイ上には一度に14音色まで表示されます。14音色以上ある場合は画面が複数ページになっていますので、（ディスプレイの左上にページ数が表示されています）ディスプレイの左側にある【ページ上がる】【ページ下がる】ボタンでページを切り替えます。

6 演奏する

鍵盤を弾くとグランドピアノの音色が鳴ります。初期設定では【ペロシティタッチ】スイッチが既にオンに設定されており、鍵盤を弾く力の強さによって音量が変化するという実際のピアノにより近い演奏ができるようになっています。

2. オーケストラボイスの紹介

ピアノ以外にも1から5までの手順で、14種類286通りのオーケストラボイスを楽しむことができます。(全音色のリストは巻末にあります)

ピアノ	11 音色
エレクトリックピアノ	9 音色
クロマチックパーカッション	25 音色
ギター	21 音色
アコーディオン	12 音色
オルガン&金属リード	42 音色
エスニック	21 音色

ストリングス&クワイヤー	29 音色
金管楽器	21 音色
木管楽器 (リード)	16 音色
木管楽器 (パイプ)	11 音色
シンセサイザー	36 音色
ベース	21 音色
ドラムセット	11 音色

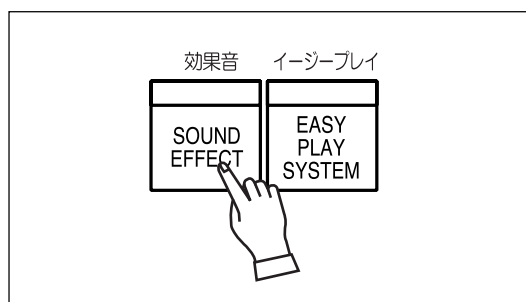
※ドラムセットに設定し各鍵盤を押すと、様々な打楽器の音色を鳴らすことができます。
詳しくは、巻末のドラムセットリストをご覧ください。

3. 効果音について

左図リストの音色のほかに、オペレッタ等に最適な効果音が多数内蔵されています。
(効果音リストは巻末にあります)

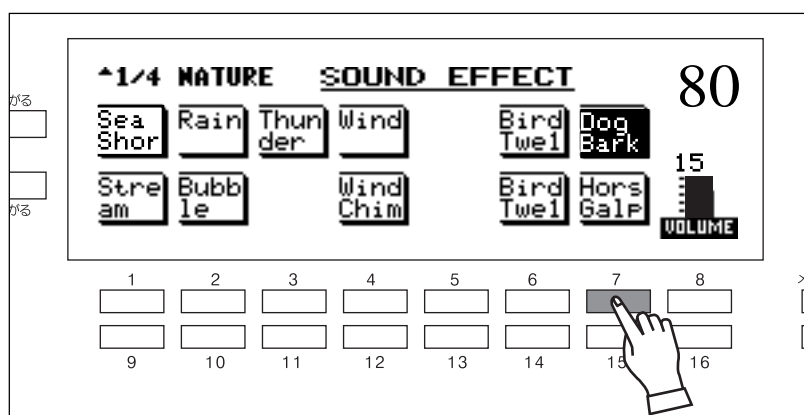
① 「SOUND EFFECT (効果音)」 画面にする

【効果音】スイッチをしばらくの間押し続けます。
※スイッチを押すと現時点で選択されている効果音が鳴りますので、鳴らしたくない場合には主音量スライダー【すべての音量】で音量を下げてからスイッチを押してください。



② 効果音を選択する

ボタンを押しつづけているとディスプレイがサウンドエフェクト (効果音) 画面 (下図) になります。
(画面上部に「SOUND EFFECT」という単語が表示されます)
初期設定では「SEASHOR」が選ばれているので、ディスプレイ上に白黒反転して表示されています。

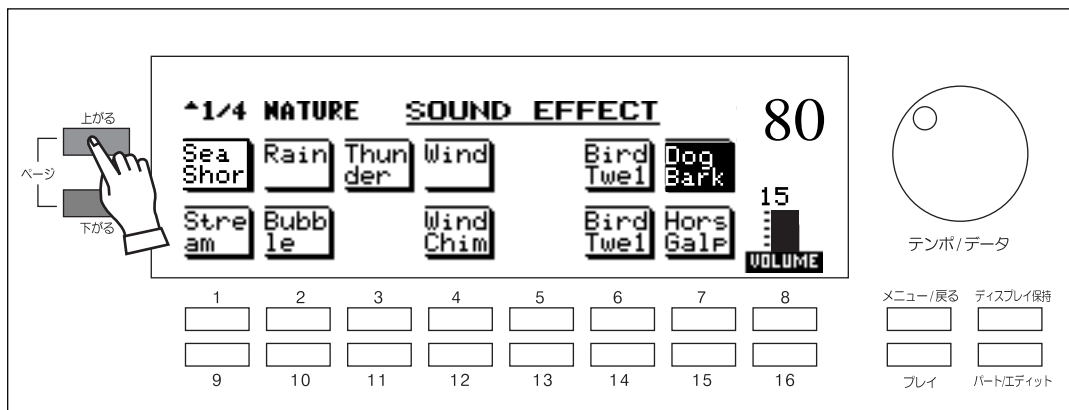


画面の表示はその下にある数字付きのタッチボタンの配列に対応していますので、例えば犬の声を使いたい場合には、7番のボタンを押します。押すと「DOG BARK」の文字が白黒反転して表示されます。

③画面のページを切り替える

「SOUND EFFECT」画面は全部で4ページあります。

ディスプレイの左側にある【ページ 上がる】【ページ 下がる】ボタンを使って、他のページの表示に切り替えます。



※注意

Dog Bark (犬の鳴き声) や Bird Tweet (鳥のさえずり) などは一時的な効果音ですが、Seashore (波の音) や Rain (雨の音) など連続的な効果音です。

連続的な効果音を選択すると【効果音】スイッチが点灯した状態（オン）が続き、もう一度押しでオフにするまで鳴り続けます。一時的な効果音を選択すると【効果音】スイッチをオンにしても、鳴り終わった時点で自動的にオフになります。

オルガンの音を出してみよう

1. ドローバーについて

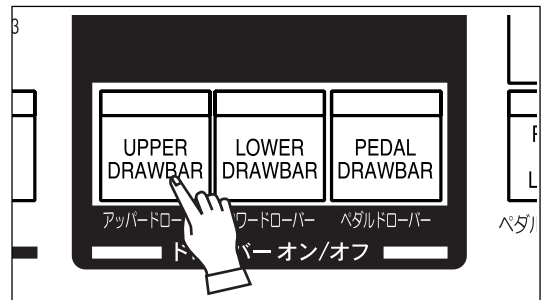
ハモンドオルガンの最大の特徴であるドローバーは、ハモンドサウンドの基本となる音色をコントロールするためのつまみです。XE-1には、それぞれの鍵盤用に9本の【アッパードローバー】があります。

(このほかにも付属品であるペダル鍵盤用の【ペダルドローバー】2本と、スプリット機能を使用したり2段鍵盤に拡張した場合に使用する【ロワードローバー】が9本あります)

ドローバーを引き出し組み合わせるだけで、簡単にいろいろな音色を創り出すことができます。

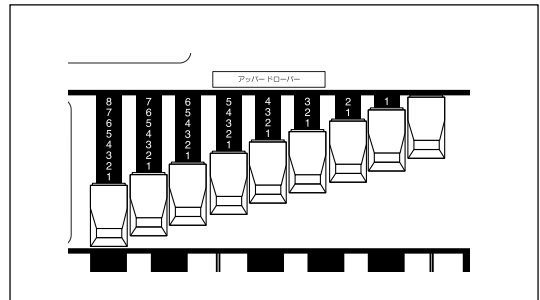
2. ドローバーの基本的な使い方

- ①「ドローバー オン/オフ」スイッチをオンにする
- ドローバーをオンにするためには、【ドローバー オン/オフ】グループのなかの【アッパー ドローバー】スイッチを押し、ランプを点灯させます。
- ※このスイッチを押すと【音色 オン/オフ】スイッチはオフになり、ドローバーのみでの音色作りになります。オーケストラボイスとドローバーサウンドの両方を使っての音色作りについてはp 21 をご覧ください。



②ドローバーを使って音色をつくる

ドローバーを手前に引き出すと音量が0 (無音) から8 (最大) まで大きくなり、ドローバーを奥へ押し出すと、そのドローバーの音量が小さくなります。(ドローバーに書いてある数字が音量を示しています)



ドローバーで作り出せる音色の組み合わせは約2億5千3百万通りあります。
いろいろと試してみても自分が好きな音色を見つけましょう。

※注意

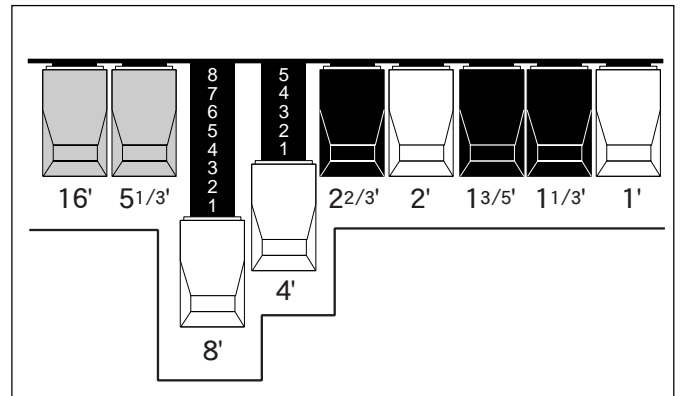
●実際に出る音は、引き出されているドローバー各つまみの量ではなく、ディスプレイの表示の値のものです。

●動かしたつまみだけが元々の量からつまみで設定された量に切り替わります。尚、プリセットが「キャンセル」の時のみ、常に引き出されているドローバー各つまみどおりの音になります。

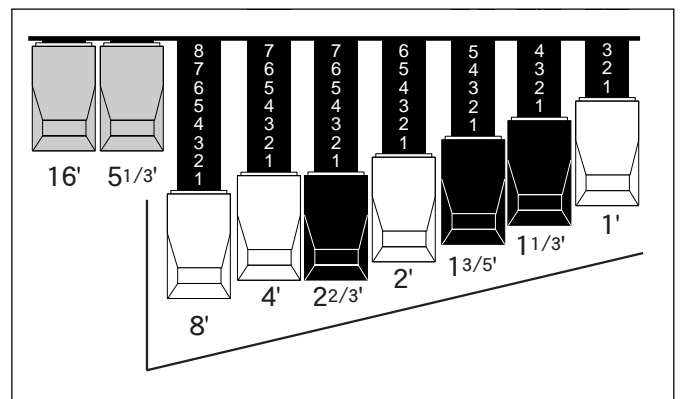
3 ドローバーの組み合わせ例

以下の図は、主なドローバーの組み合わせ例です。

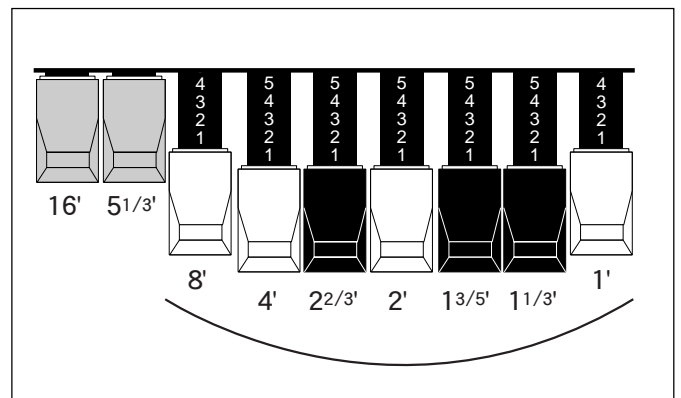
フルート系



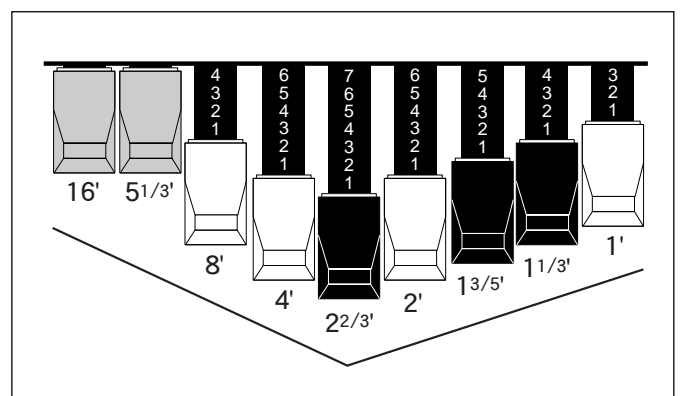
リード系



ストリング系



ディアパーソン系



音を変化させてみよう

1. 主なエフェクト（効果）機能

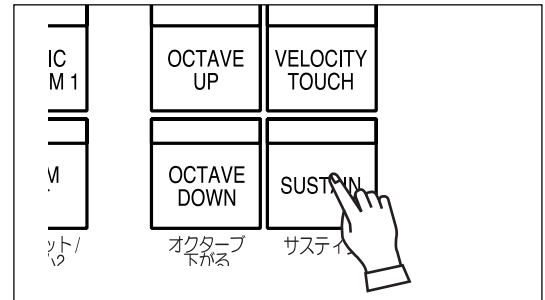
【サスティン効果】

鍵盤から指をはなしたあとも余韻を残したい時に使用します。

（オーケストラボイスの場合）

①「サスティン」スイッチをオンにする

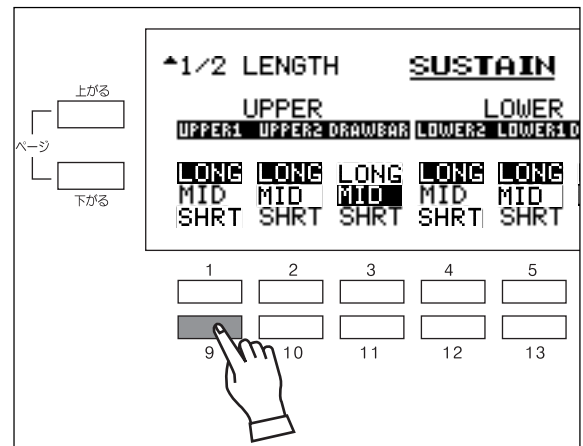
【サスティン】スイッチをしばらく押し続けるとディスプレイが「SUSTAIN」画面になります。



②サスティン時間を設定する

サスティン効果をかけたいパートのサスティン（減衰）時間を、「LONG」「MID」「SHRT」の3種類のなかから決め、ディスプレイの下の番号ボタンを使って選択します。

（スプリット効果や付属鍵盤を使用していない場合は「UPPER 1」の部分で「1」または「9」の番号ボタンで選択します。）



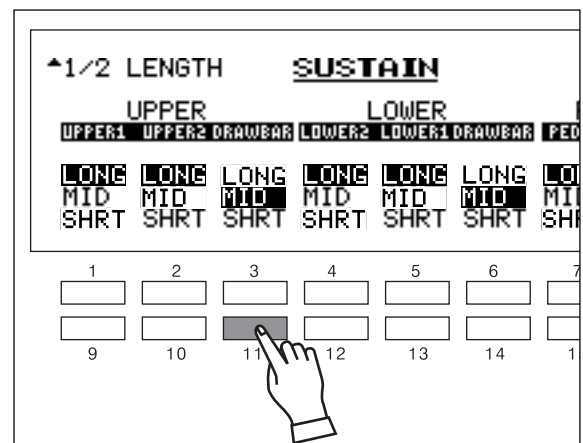
（ドローバーサウンドの場合）

①「サスティン」スイッチをオンにする

【サスティン】グループのなかの【アップードローバーサスティン】スイッチをしばらく押し続けます。

②サスティン時間を設定する

スイッチを押しつづけるとディスプレイが「SUSTAIN」画面になりますので、そのあとはオーケストラボイスと同様にサスティン時間の長さの調節を下の番号ボタンでおこないます。



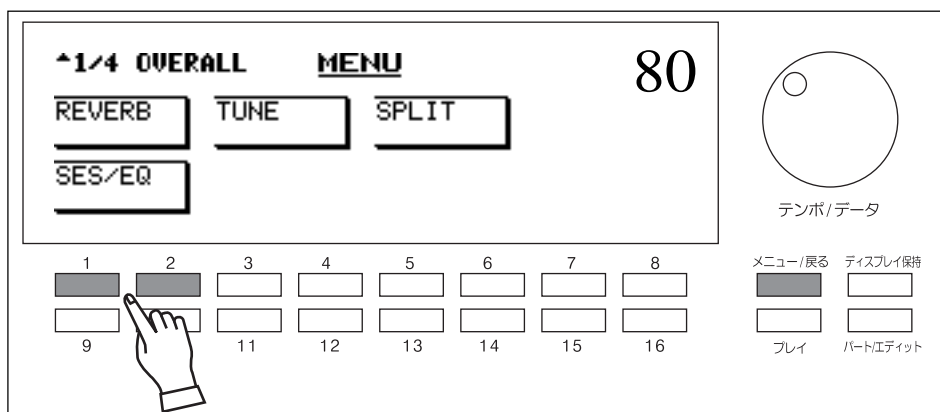
【リバーブ効果】

吸音効果のある部屋で演奏する場合、リバーブ機能を使うとすべての音に残響効果を加えることができます。

①リバーブスイッチをオンにする

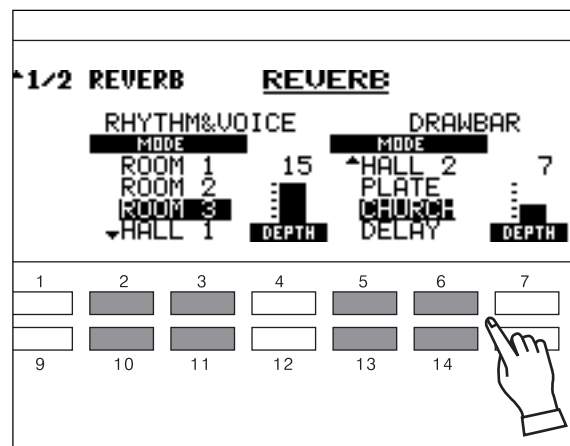
【リバーブ】スイッチをしばらく押し続けると、ディスプレイが「REVERB」画面になります。

※ 初期設定ではすでにオンになっていますので、【メニュー/戻る】ボタンを押しメニュー画面の1ページ目に切り替え、下の「1」または「2」の数字ボタンを押して「REVERB」画面にしてください。



② リバーブモードを設定する

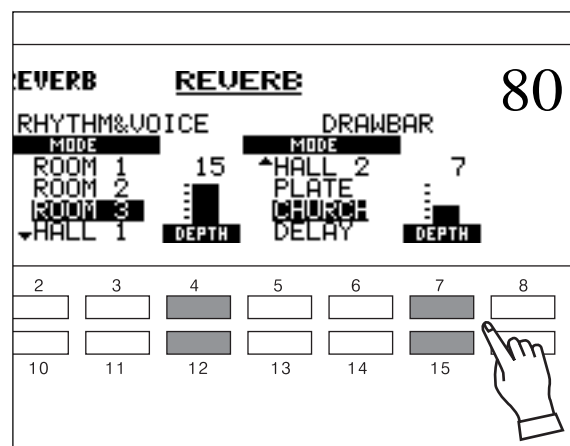
ディスプレイに表示されたリバーブモードのなかから好みのモードを下の番号ボタンで選択します。(リズム&オーケストラボイスの場合は「2」「3」または「10」「11」、ドローバーサウンドの場合は「5」「6」または「13」「14」ボタンで操作します)



③リバーブ量を設定する

モード選択の右側にある目盛りはリバーブ量です。下の対応する数字ボタンで調節します。

(リズム&オーケストラボイスの場合は「4」または「12」、ドローバーサウンドの場合は「7」または「15」の数字ボタンで調節します)



【コーラス効果】

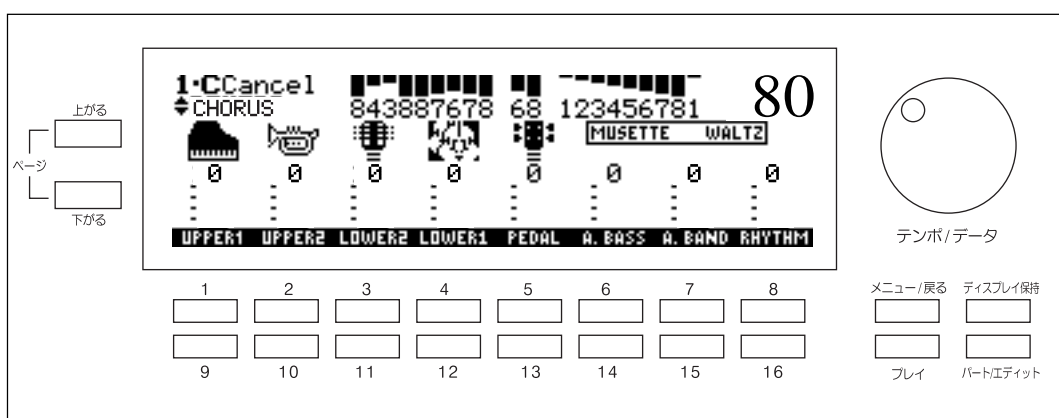
コーラス機能を使うと、あたかも二つの楽器を演奏しているかのように、内蔵音色を二つの微妙に異なるピッチに分解することができ、自然で豊かなサウンドの広がりを実現することができます。（この効果は「音響ミックス」と呼ばれます。）

※ この効果はオーケストラボイスにのみかかります。

コーラス効果は、コーラス量を上げることで効果のオン/オフを設定します。

①コーラスミキサー画面にする

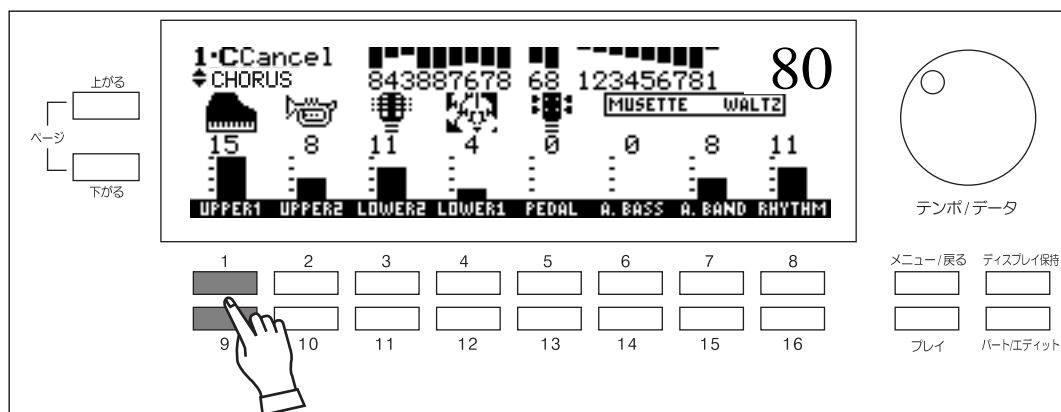
【プレイ】ボタンを押してミキサー画面を表示させ、画面の左側に「CHORUS」が表示されるまで【ページ 上がる】または【ページ 下がる】ボタン押し続けます。



②コーラス量を調整する

「UPPER1」の表示に対応するディスプレイ下の番号ボタン（1または9）で、コーラス量を調整します。

※ 初期設定では、コーラス量は0になっていますので、コーラス効果はかかりません。1番のボタンで音量を上げることで効果がかかるようになります。

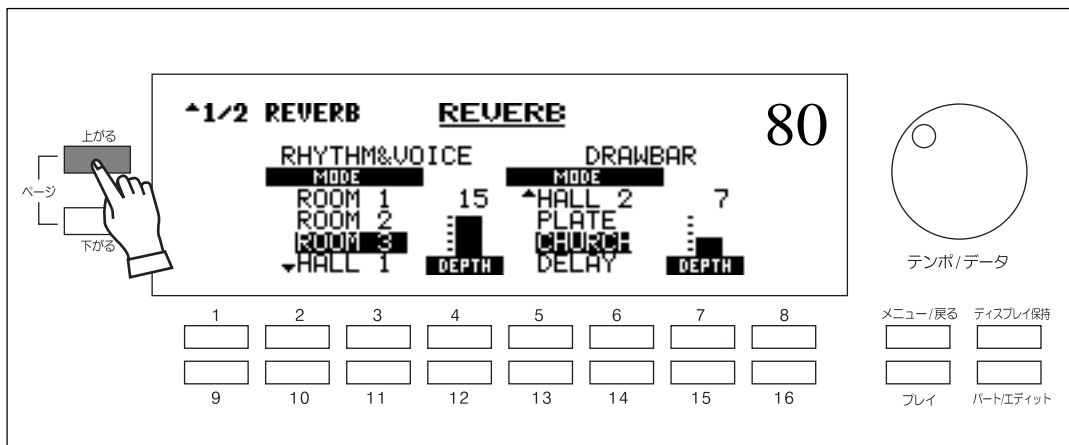


(コーラスモードと全体のコーラス量の設定)

①「REVERB (リバーブ)」画面にする

【リバーブ】スイッチをしばらく押し続けると、ディスプレイが「REVERB」画面になります。

※ 初期設定ではすでにオンになっていますので、【メニュー/戻る】ボタンを押しメニュー画面の1ページ目に切り替え、下の「1」または「2」の数字ボタンを押して「REVERB」画面にしてください。



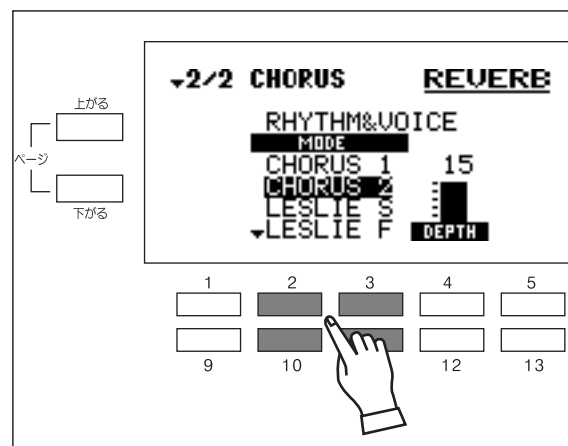
②「REVERB (リバーブ)」画面の2ページ目を開く

【ページ 上がる】ボタンを押し、「REVERB」画面の2ページ目にします。

(「REVERB」の左側に「CHORUS」の文字が出ます)

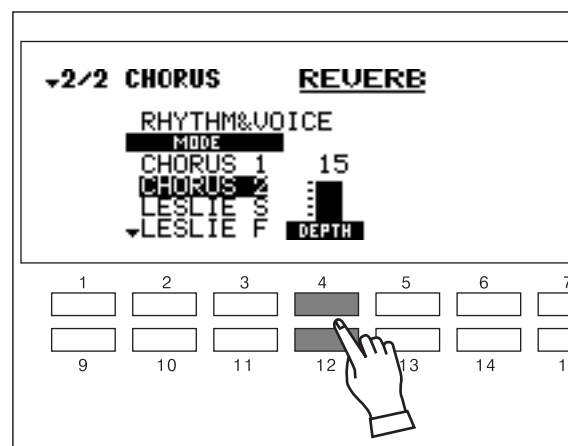
③コーラスモードを設定する

コーラスモードのなかから好みのモードを下の番号ボタン(「2」「3」または「10」「11」)で選択します。



④コーラス量を設定する

モード選択の右側にある目盛りはコーラス量を表していますが、下の数字ボタン(「4」または「12」)を使って調節します。



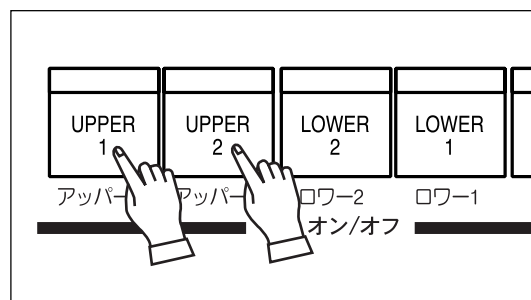
【デュエット効果】

XE-1では、一つの鍵盤で複数の音色を重ねることができます。

(オーケストラボイス2音色を重ねる場合)

①「音色オン/オフ」スイッチをオンにする

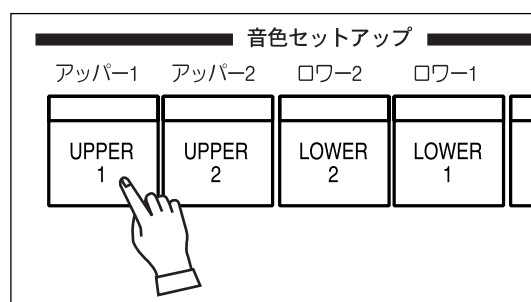
【音色オン/オフ】グループのなかの【アッパー1】と【アッパー2】のスイッチを同時に押し、両方のスイッチを点灯させます。



②一つ目の音色を選択する

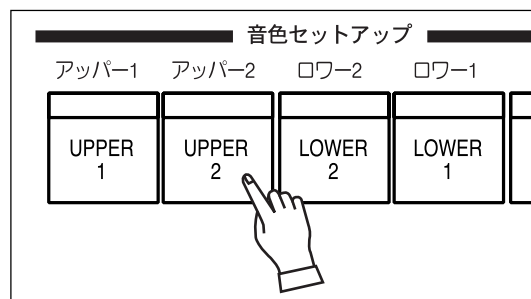
【音色セットアップ】グループのなかの【アッパー1】を押しスイッチを点灯させ、【音色】スイッチとディスプレイの音色選択画面で一つ目の音色を選択します。

(音色選択の詳しい操作方法につきましては、p10の「ピアノの音を出してみよう」をご覧ください。)



③二つ目の音色を選択する

【音色セットアップ】グループのなかの【アッパー2】を押しスイッチを点灯させ、2と同様の操作でもう一つの音色を選択します。



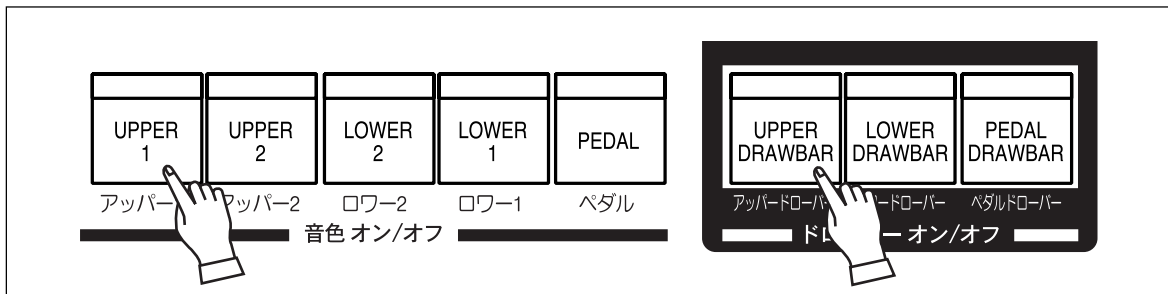
④演奏する

鍵盤を押すと同時に二つの音色が鳴ります。

(オーケストラボイスとドロワーサウンドを重ねる場合)

①「音色オン/オフ」と「ドロワーオン/オフ」スイッチをオンにする

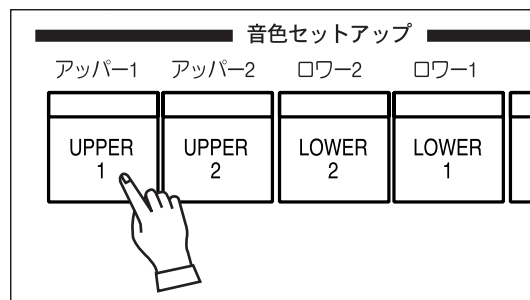
【音色オン/オフ】グループのなかの【アッパー1】スイッチと【ドロワーオン/オフ】グループのなかの【アッパードロワー】スイッチを同時に押し、両方のスイッチを点灯させます。



②オーケストラボイスの音色を選択する

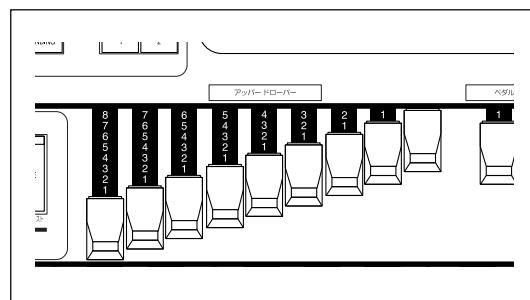
【音色セットアップ】グループのなかの【アッパー1】を押しスイッチを点灯させ、【音色】スイッチとディスプレイの音色選択画面で音色を選択します。

(音色選択の詳しい操作方法につきましては、p10の「ピアノの音を出してみよう」をご覧ください)



③ドロワーサウンドをつくる

ドロワーを使って音色をつくります。ドロワーを引き出すと音量が0（無音）から8（最大）まで大きくなり、ドロワーを奥へ押しすと、そのドロワーの音量が小さくなります。



④演奏する

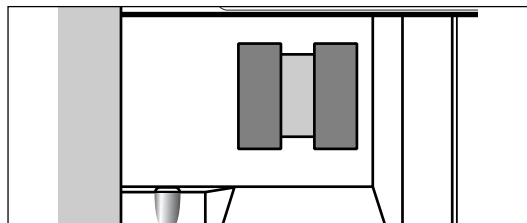
鍵盤を押すとオーケストラボイスとドロワーサウンドの二つの音色が同時に鳴ります。

※ 各音色に他の効果をかけたい場合に関しましては、別冊の取扱説明書をご覧ください。

- ・サスティン効果 p48～
- ・リバーブ効果 p94～
- ・コーラス効果 p51
- ・ピッチベンド/モジュレーション p107～

2. ホイールの使い方

ディスクドライブのすぐ上、鍵盤の左側に2つのホイールがあります。

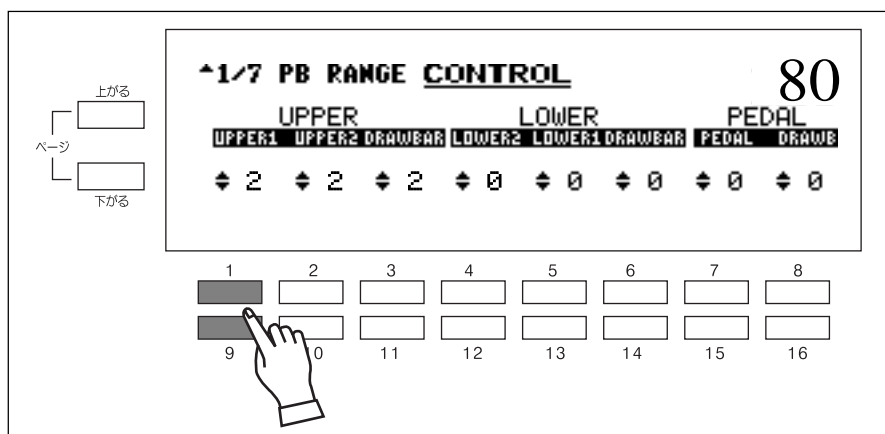
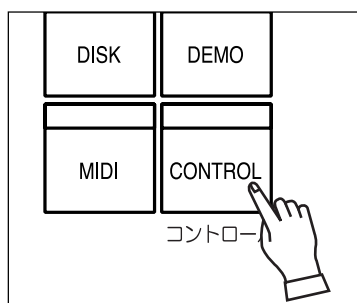


ピッチベンドホイール

フレーズ中で鍵盤のピッチを変化させたい場合に使用します。奥へ動かすとピッチが高く、手前に動かすと低くなります。また変化させるピッチの幅を「0」（ピッチベンド無し）から「12」（1オクターブ）まで選ぶことができます。

① 「CONTROL (コントロール)」画面にする

【コントロール】スイッチを押すと、ディスプレイがコントロール機能画面（ページ1）になります。



② ピッチ幅を設定する

画面の左にある「アッパー」グループの「アッパー1」の数字をすぐ下にある数字ボタンを押して設定します。ピッチを広げるには1番、狭めるには9番のボタンを使います。

モジュレーション

音のビブラート量をコントロールします。奥へ動かすとビブラートのかかりが増加し、手前に動かすと減少します。通常はゼロ（一番手前側）にしておきます。

モジュレーション機能のオン/オフを設定するには

① 「CONTROL (コントロール)」画面にする

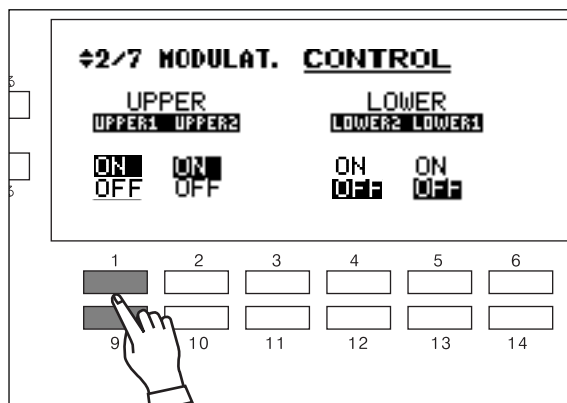
【コントロール】スイッチを押すと、ディスプレイがコントロール機能画面（ページ1）になります。

② 「CONTROL (コントロール)」画面の2ページ目にする

ディスプレイの左側にある【ページ 上がる】ボタンを押して、2ページ目を表示させます。

③ オン/オフの設定をする

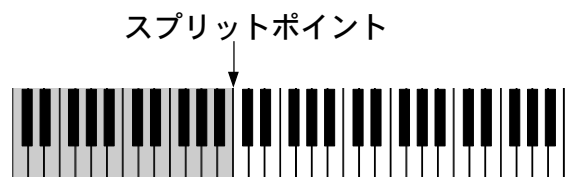
画面の左側にある「UPPER」グループの「UPPER1」の真下にある数字ボタン（1または9）でオン・オフの選択をします。



特別な使い方をしてみよう

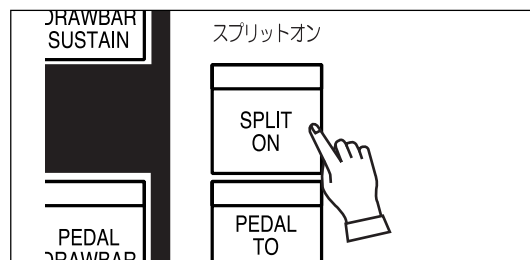
1. スプリット機能

スプリット機能を使うと、鍵盤を任意の場所で二つに分け、二段鍵盤のオルガンのように扱うことができます。



1 【スプリット オン】スイッチをオンにする

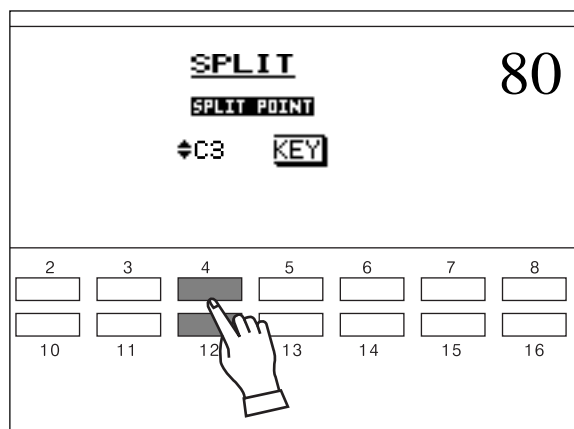
【スプリット オン】スイッチをしばらく押し続けるとディスプレイが「SPLIT」画面になり、スプリットポイントが表示されます。



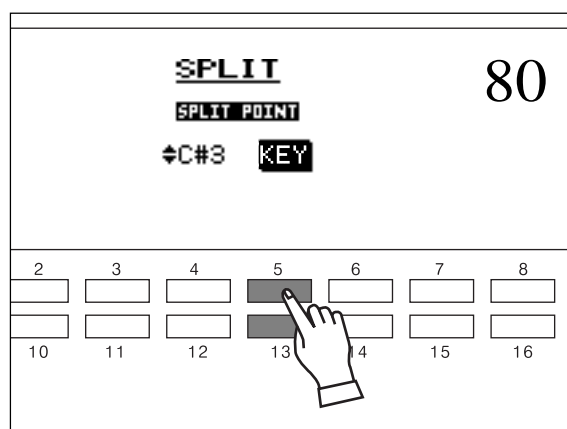
2 スプリットポイントを設定する

スプリットポイントをディスプレイの下にある4番または12番のボタンで設定します。上限は「C6」、下限は「C1」（鍵盤の両端）です。また、5番または13番のボタンを押しながら鍵盤を押してスプリットポイントを設定することもできます。その場合押した鍵盤が左鍵盤の最高音になります。

ボタンで設定する場合



鍵盤で設定する場合



※スプリット機能を使う場合、右の鍵盤をアッパー（UPPER）鍵盤、左の鍵盤をロー（LOWER）鍵盤と呼びます。音色等各設定をおこなう際には、それぞれの鍵盤を選択しておこないます。詳しいことに関しましては、別冊の取扱説明書をご覧ください。

- ・音色選択について p36～
- ・サスティン効果 p48～
- ・リバーブ効果 p94～
- ・コーラス効果 p51
- ・ピッチベンド / モジュレーション p107～

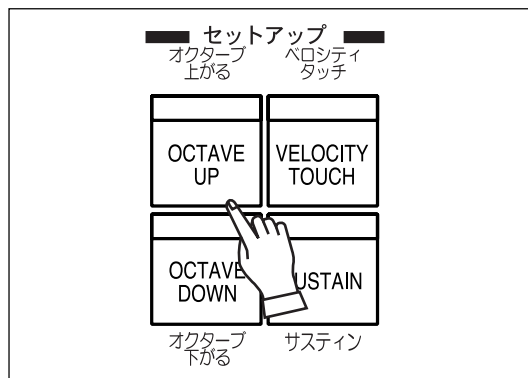
2. オクターブの設定

音色選択スイッチの右側にある【オクターブ】スイッチの「上がる」「下がる」で、オーケストラボイスの各音色を上下2オクターブ変化させることができます。

【上がる】を押すごとに1オクターブ上がり、【下がる】を押すごとに1オクターブ下がります。

標準（8フィート）より1オクターブ高い（または低い）場合はランプが点灯、2オクターブ高い（または低い）場合はランプが点滅します。

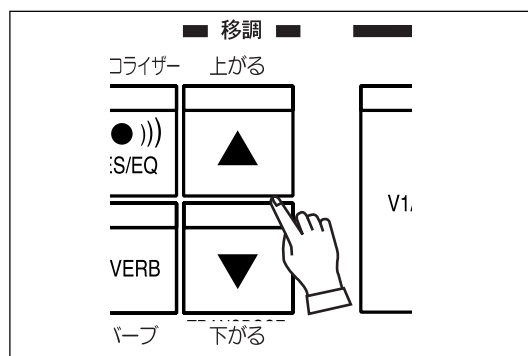
※オーケストラボイスを選択した際に、自動的にオクターブスイッチがオンになる音色もあります。



3. 移調の設定

この機能は、ある調で作られた曲を他の調で演奏したい場合に使用します。上下各6半音の範囲で移調が可能です。

【移調】スイッチの「上がる」を押すごとに全体の音程が半音上がり、「下がる」を押すごとに半音下がります。



よく使う音はプリセットしておこう

プリセットは、音色やスイッチの状態をあらかじめ記録しておき、瞬時に音色の切り替えをおこなう場合に使用します。

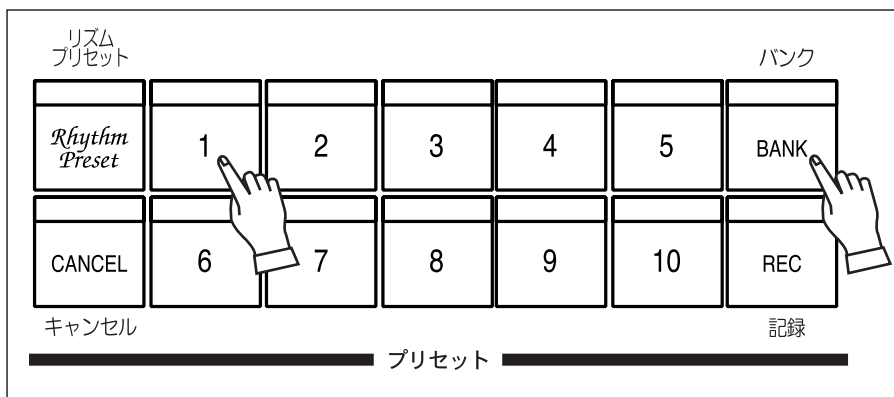
XE-1には、10個のプリセットバンクにそれぞれ10個のプリセットがあり、計100種類の状態を記録させることができます。

※プリセットにはあらかじめ基本セッティングがしてありますが、内容は自由に変えることができます。

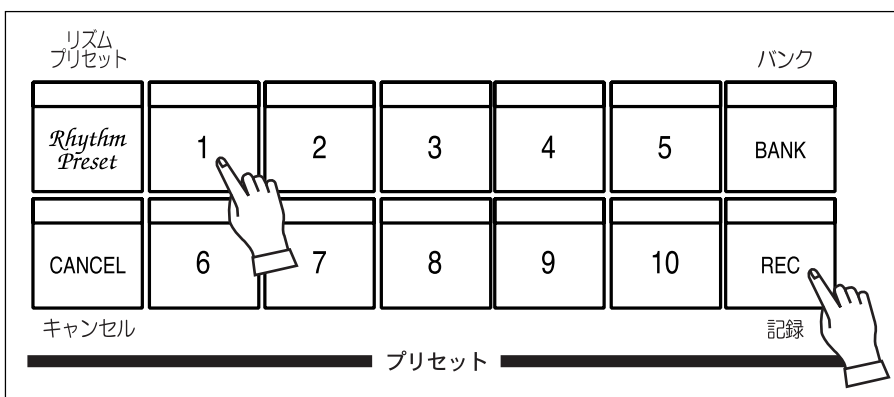
1. プリセットに記録するには

プリセットに関する設定は、【プリセット】グループのスイッチでおこないます。

- ①音色や効果、音量バランスなどの設定をします。
- ②【バンク】スイッチを押しながら記録させたいプリセットバンクの番号ボタンを押します。



- ③【記録】スイッチを押しながら記録させたいプリセットの番号ボタンを押します。



- ④ 押した番号スイッチが数回点滅し、点滅が終わると記録処理は完了です。

※注意

点滅中は電源を切らないでください。データ消失の恐れがあります。

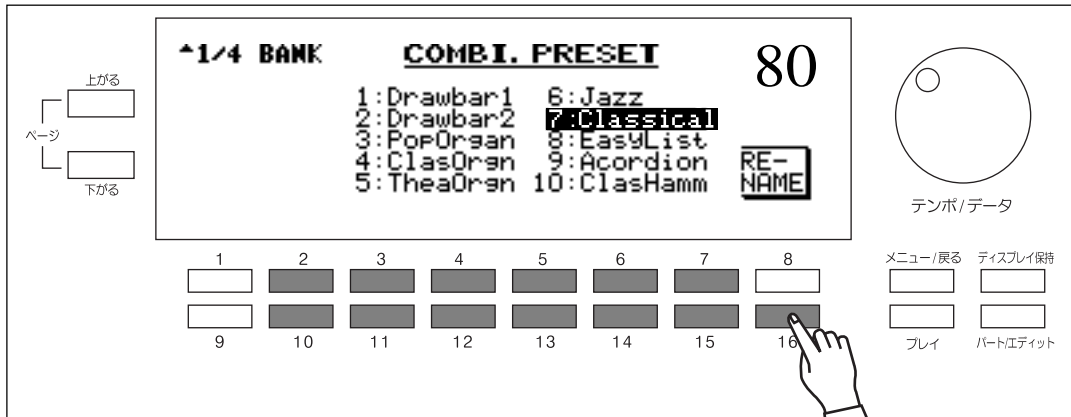
2. 記録した状態に名前を付けるには

1～5の操作でプリセットへの記録が終わったら、プリセットバンクとプリセットの名前の変更をしましょう。

① 「COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット)」画面にする

【バンク】スイッチを押し続けると、ディスプレイは中央上部に「COMBI. PRESET」と表示のある画面になります。

※プリセットに記憶した際に画面が変わっている場合にはこの操作は必要ありません。

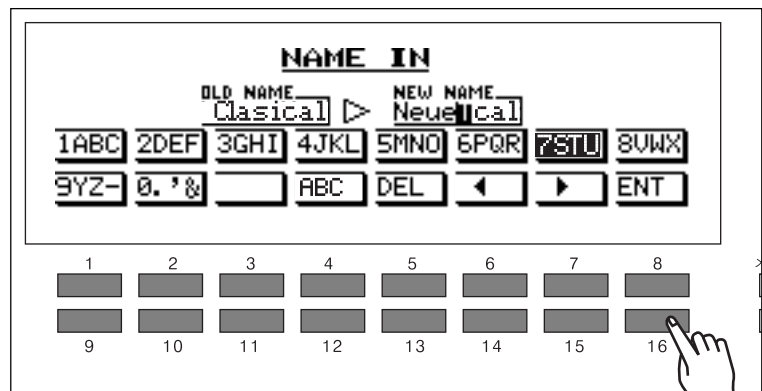


② プリセットバンクを選ぶ

ディスプレイの下にある番号ボタンを使って名前を変更したいプリセットバンクを選び、16番のボタンを押します。

③ プリセットバンクの名前を入力する

ディスプレイは中央上部に「NAME IN」と表示のある画面になります。「NEW NAME」と表示されたところに、ディスプレイ下の番号ボタンを使って新しい名前を入力します。(入力可能な文字数は8文字です)



(文字入力の方法)

- ・「1 ABC」のいずれかを入力したい場合には、1番のボタンを使います。
- ・カーソル位置にスペースを挿入したい場合には、11番のボタンを使います。
- ・大文字・小文字を選択するには、12番のボタンを使います。ディスプレイに表示されている文字が現在選ばれているものです。
- ・カーソルの文字を消したい場合には、13番のボタンを使います。
- ・カーソルを前後に動かしたい場合には、14番および15番のボタンを使います。

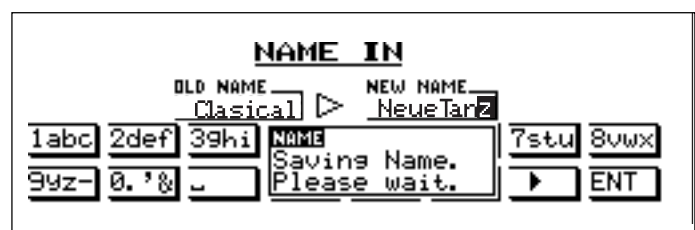
名前の入力が終わったら「ENT」(16番)のボタンを押してください。

新しい名前の保存中は、右のような画面になります。

終了すると元の画面に戻ります。

※注意

右の表示が出ている間は、電源を切らないでください。データ消失の恐れがあります。



④プリセットの名前を入力する

プリセットバンクの名前の変更が終了したら、次にその中のプリセットの名前を変更します。ディスプレイ【ページ 上がる】ボタンを押して【COMBI. PRESET】の2ページ目を開きます。

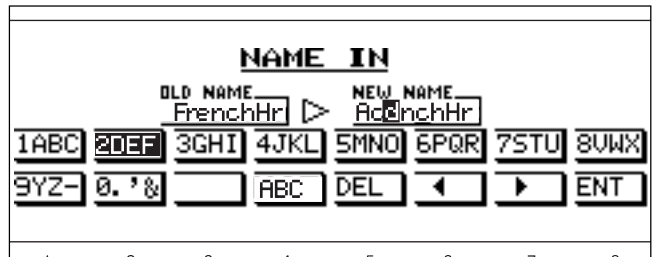
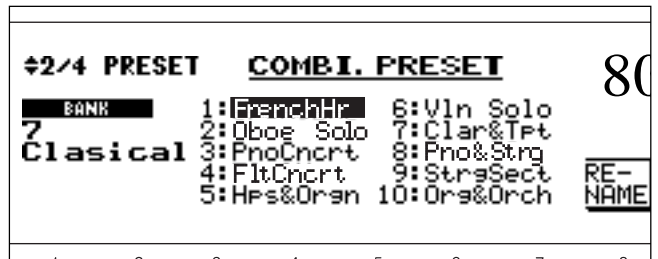
プリセットバンクと同様に、16番のボタンを押し、「NAME IN」の画面上で、名前を変更します。

名前の入力が終わったら「ENT」（16番）を押してください。

新しい名前の保存中は、右のような画面になります。終了すると元の画面に戻ります。

※注意

- この表示が出ている間は、電源を切らないでください。データ消失の恐れがあります。
- バンク名のみ、プリセット名のみを入力をする場合には③または④のみの操作をおこなってください。



3. 記録したプリセットを呼び出すには

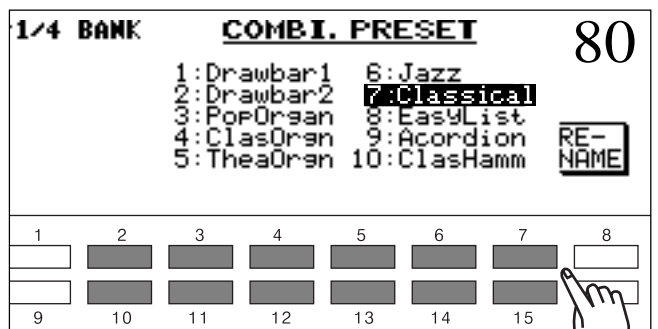
①「COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット)」画面にする

【バンク】スイッチを押し続けると、ディスプレイは中央上部に「COMBI.PRESET」と表示のある画面になります。

②プリセットバンクを選ぶ

ディスプレイの下にある番号ボタン(2~7、10~15)で使いたい音色が記録されているプリセットバンクを選択します。

※現在選択しているプリセットバンクを変更しない場合には、この操作は必要ありません。



③プリセットを選択する

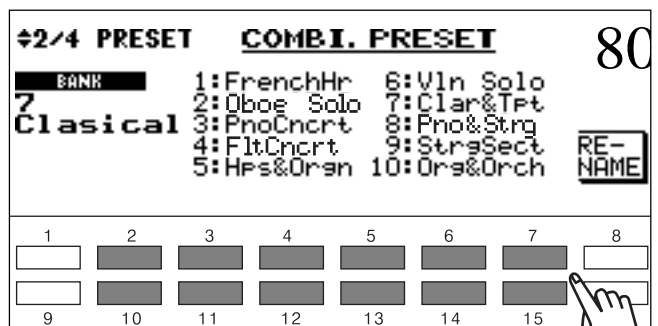
【ページ 上がる】ボタンを押し、画面の2ページ目にします。

ディスプレイの下にある番号ボタン(2~7、10~15)で使いたい音色が記録されているプリセットを選択します。

④演奏する

プリセットが選択されるとプリセットに記録されている通りに各スイッチが点灯し、鍵盤を弾くと記録されている音色が鳴ります。

同じ操作で、初期セッティングされている音色を呼び出すこともできます。



リズム機能の使い方

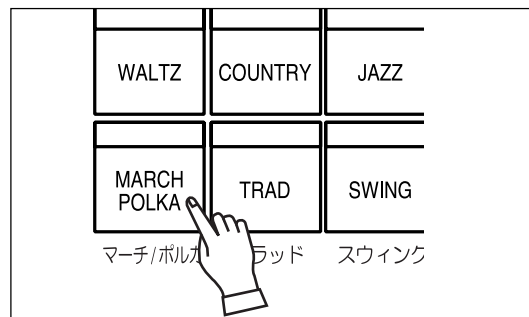
1. 4/4 マーチを鳴らしてみよう

①リズムスタイルを選択する (1)

【リズム&スタイル】グループのなかから使いたいリズムを選び、スイッチを押します。(初期設定では【ワルツ】が選択されており、ランプが点灯しています。)

マーチのリズムを使いたい場合は、【マーチ/ポルカ】のスイッチを押して点灯させます。

※ リズムの演奏中にスタイルを変更すると、次の小節から新しく選んだスタイルが演奏されます。

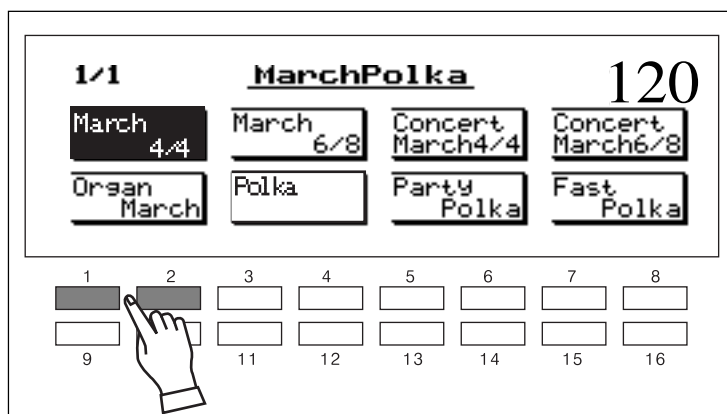


②リズムスタイルを選択する (2)

リズム選択スイッチ【リズム&スタイル】のいずれかを押すと、ディスプレイがリズム選択画面になります。(マーチ&ポルカを選択している場合には、中央の上部分に「MarchPolka」と表示された画面になります)

パネルに表示されたさらに細かく分類されたリズムスタイルのなかから使いたいリズムを選びます。画面のリズム表示はその下にある数字ボタンの配列に対応していますので、例えば4分の4拍子のマーチを選ぶ場合には、1番または2番のボタンを押します。(初期設定では既に4分の4拍子マーチが選択されています)

選択されたリズムは白黒反転して表示されます。

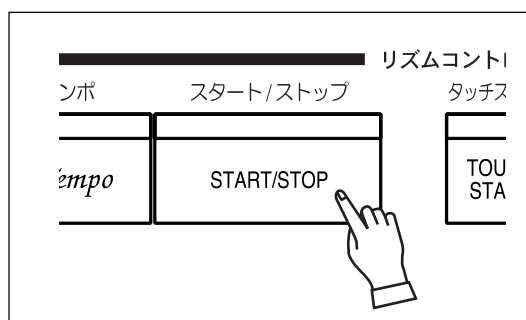


※ リズム選択画面は表示されて8秒間たつと前の画面に戻りますが、そのまま画面を見続けたい場合には、ディスプレイパネル内にある【ディスプレイ保持】ボタンを押します。ディスプレイ保持をやめたい場合にはもう一度ボタンを押します。

※ ディスプレイ上には一度に8種類まで表示されます。8種類以上ある場合は画面が複数ページになっていますので、(ディスプレイの左上にページ数が表示されています)ディスプレイの左側にある【ページ上がる】【ページ下がる】ボタンでページを切り替えます。

③リズム演奏のスタート/ストップ

【リズムコントロール】グループのなかの【スタート/ストップ】スイッチを押すとリズムがスタートし、もう一度押すとリズムが止まります。

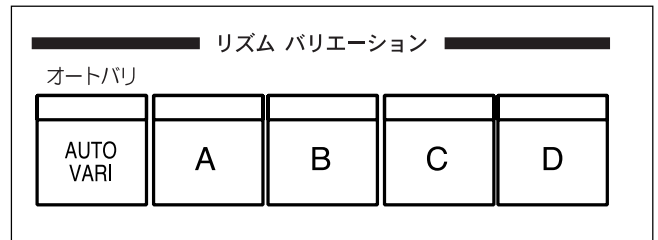


4 リズムバリエーションを選択する

個々のリズムスタイルにはそれぞれ4種類のバリエーションがあり、【リズム&スタイル】グループの下にある【リズムバリエーション】のスイッチで選択します。

「A」パターンは、最も簡単なアレンジで、「D」パターンに近づくにつれて徐々に複雑になっていきます。バリエーションを曲の展開に合わせて切り替えると効果的です。

※ 初期設定では【オートバリ】スイッチが点灯していますが、これはバリエーションを自動的に変化させるスイッチですので、通常はOFFにしておいてください。



◆リズムスタイルの紹介

4分の4拍子のマーチ以外にも1から3までの手順で、16種類100通りのリズムスタイルを楽しむことができます。(全スタイルのリストは巻末にあります)

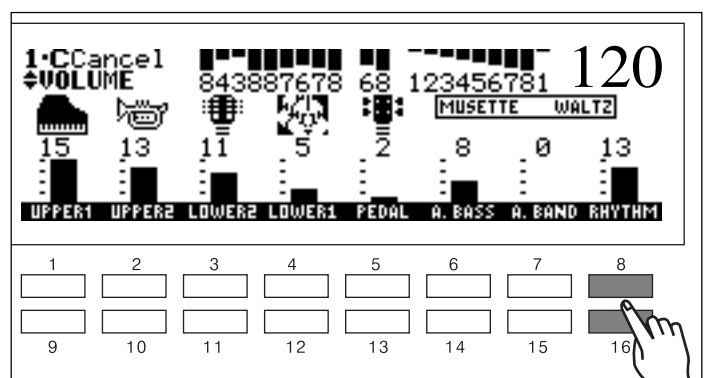
ワルツ	12スタイル	マーチ&ポルカ	8スタイル
カントリー	5スタイル	トラッド	15スタイル
ジャズ	4スタイル	スウィング	8スタイル
バラード	6スタイル	ロック	7スタイル
8ビート	4スタイル	16ビート	3スタイル
ダンス	8スタイル	サンバ	4スタイル
ボサノヴァ	6スタイル	ラテン	5スタイル
ルンバ	3スタイル	タンゴ	2スタイル

2. 音量・テンポの調整

音量の調整

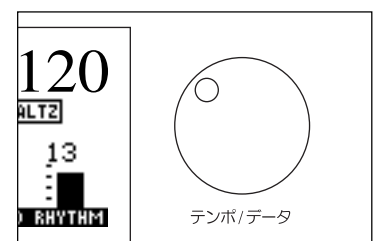
- ①【プレイ】ボタンを押してミキサー画面を表示させ、画面の左側に「VOLUME」が表示されるまで【ページ上がる】または【ページ下がる】ボタンを押します。

- ②ディスプレイ下にある番号ボタン（大きくするには8、小さくするには16）で音量を調整します。



テンポの調整

ディスプレイの右側にあるテンポつまみで調整します。テンポの範囲は♩=40～300 BPM（拍/分）です。リズムテンポはディスプレイの右上にBPM（拍/分）で表示されます。



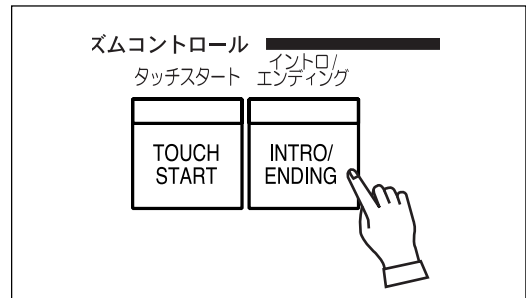
3. 効果的な活用方法

A イントロ・エンディングを付ける

リズムにイントロをつけて演奏したいときは、リズムの停止中に【イントロ/エンディング】スイッチを押します。それからリズムをスタートさせると、イントロが入ってからリズム演奏が始まります。

※スタイルによっては、リズムの鳴らないものもあります。

リズムにエンディングを入れて演奏を終了したいときは、演奏中に【イントロ/エンディング】スイッチを押します。2拍目以降にスイッチを押すと次の小節からエンディングが始まります。



B タッチテンポ機能

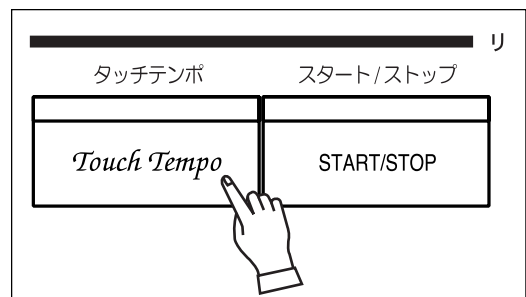
【スタート/ストップ】スイッチの左にある【タッチテンポ】スイッチを好みのテンポで叩いて、リズムテンポを設定することができます。早く叩けばリズムも早く、またゆっくり叩けばリズムもゆっくりになります。

【タッチテンポ】スイッチを好みのテンポで軽く叩きます。

4回（ワルツなど3拍子のリズムの場合は3回）のタッチでリズムがスタートします。

※ディスプレイ右上にリズムテンポがBPM（拍子/分）で表示されます。さらに必要があれば、テンポつまみを使ってテンポの調整をおこなうこともできます。

※リズムが演奏されているときでも、【タッチテンポ】スイッチを2回押して、テンポを調節することができます。

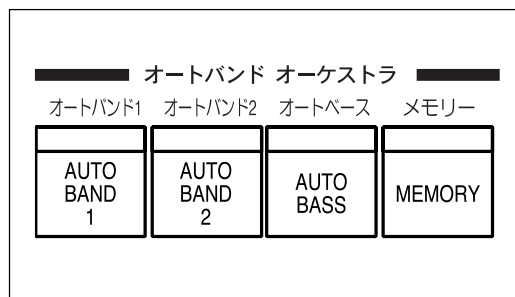


4 自動伴奏機能について

スプリット機能（本書p23を参照）を使用すると、リズムと共に自動伴奏を鳴らすことができます。

1 自動伴奏で演奏するパートを選択する

自動伴奏で演奏するパートを、【オートバンドオーケストラ】グループのスイッチで選択します。



●オートバンド1スイッチ

オンにすると主にリズムカルな伴奏をおこないます。

●オートバンド2スイッチ

オンにすると主にメロディアスな伴奏をおこないます。

※【オートバンド1】および【オートバンド2】の伴奏は、互いに補完し合うように作られていますので、両方とも使うと最良の伴奏が得られます。

●オートベーススイッチ

オンにするとリズムと共にベースを演奏します。

●メモリースイッチ

オンにするとローキーボードを離しても、次のキーボードを押すまではまだそのキーボードが押されているような演奏効果が得られます。あるコードから次のコードに移る場合には、コード変更を滑らかにこなすことができます。

※初期設定では、上記全てのスイッチがオンになっています。

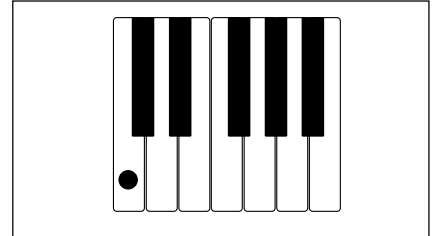
2 自動伴奏を演奏する

リズムをスタートさせ、左（ロー）鍵盤で最小限の運指でコードを指定すると、コードに合わせて自動伴奏が演奏されます。

【コード指定運指について】

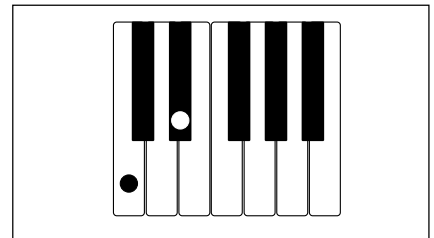
メジャーコード

メジャーコードを演奏するには、演奏するコード名の鍵盤を押さえます。例えば「C」メジャーコードの場合、下（ロー）鍵盤の「C」鍵盤を押さえます。



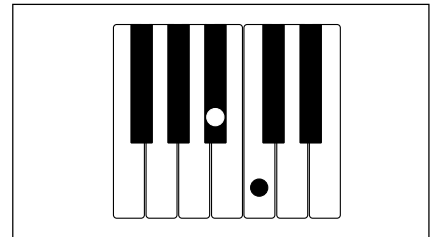
マイナーコード

マイナーコードを演奏するには、コード名の鍵盤とその鍵盤を含めずに3個右の鍵盤（短3度）を押さえます。例えば「C」マイナーコードの場合、下（ロー）鍵盤の「C」鍵盤と「E♭」を押さえます。



セブンスコード

セブンスコードを演奏するには、コード名の鍵盤とその鍵盤を含めずに2音下の鍵盤（短7度）を押さえます。例えば「C」セブンスコードの場合、下（ロー）鍵盤の「C」と「B♭」を押さえます。



※上記の例は、すべてのハーモニーに共通の基本コードの例です。他のコードに関しましては、取扱説明書巻末付録をご覧ください。

3 「聖者の行進」を演奏してみよう

旋律を右手で弾きながら、左手で簡単なコードを弾いて自動伴奏を付けてみましょう。

聖者の行進 アメリカ民謡

ディスクシーケンサーの操作

XE-1は2DD、2HDの3.5インチフロッピーディスクを使用して、録音・再生することができます。

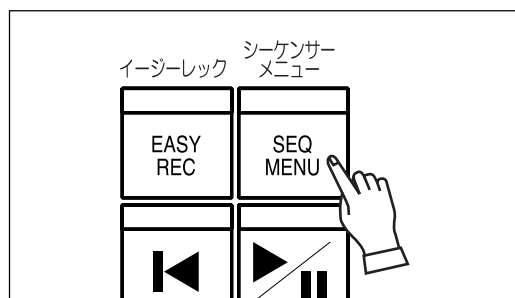
1. 自分の演奏を録音してみよう

1 取り込まれているデータを消す

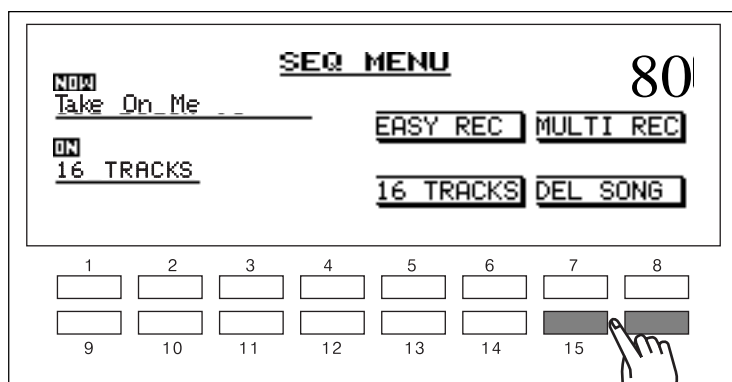
本体にフロッピーから取り込んだデータがある場合には、そのデータを消します。

※（データを取り込んでいない場合には、この操作は必要ありません。）

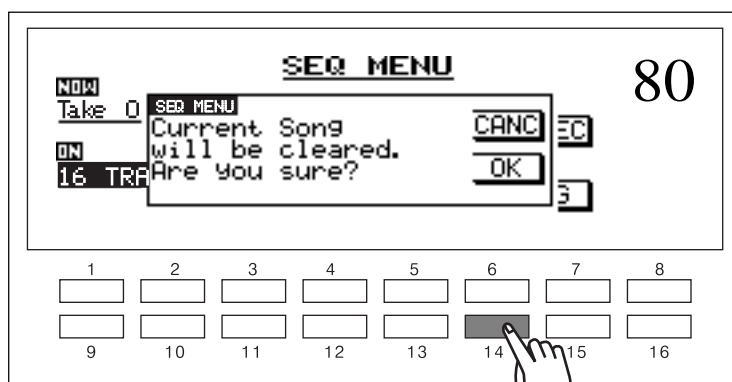
- ①【シーケンサーメニュー】スイッチを押すとディスプレイは中央上部に「SEQ MENU」と表示された画面になります。



- ②画面の右下に「DEL SONG」という表示がありますので、その下の番号ボタン（15または16）を押し選択します。



- ③中央上部に「SEQ MENU」と表示された画面になります。このままデータを消す場合には14番、キャンセルする場合には6番のボタンを押します。

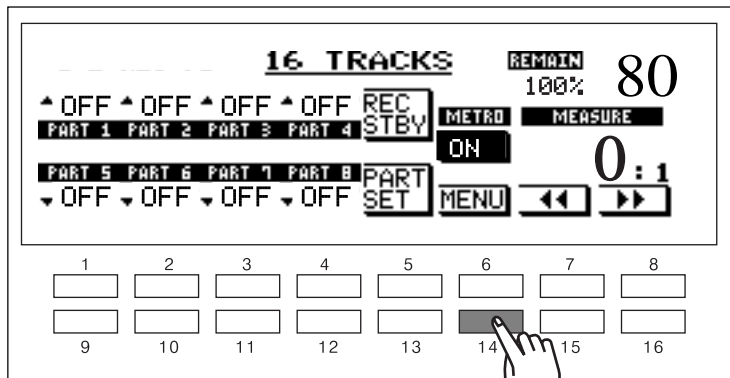


2 拍子を設定する

① 16TRACKS で使われていた場合、データが消されると、ディスプレイは中央上部に「16TRACKS」表示された画面になります。

※【シーケンサーメニュー】スイッチを押し、「SEQ MENU」画面に変えて13番、14番の数字ボタンを押すと同じ画面になります。

画面の中央下部にある「MENU」の表示に対応する番号ボタン(14)を押すとメトロノーム画面になります。



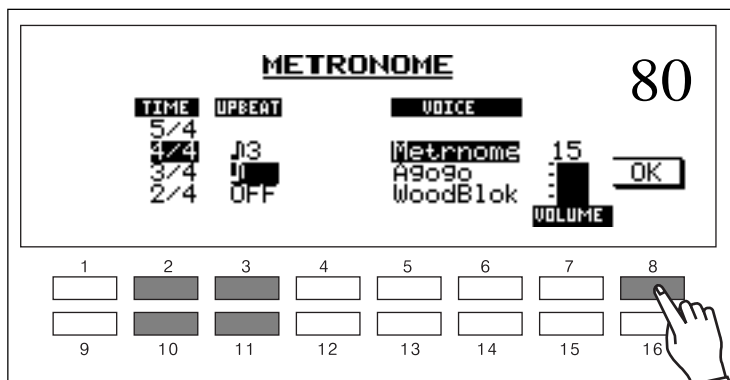
※注意

16TRACKS では

- リズム・自動伴奏をした曲の記録はできません。
- ドローパーサウンドは使用できません。
- UPPER1と2など、音色の重ね合わせはできません。
- スプリット機能は強制的にOFFになります。

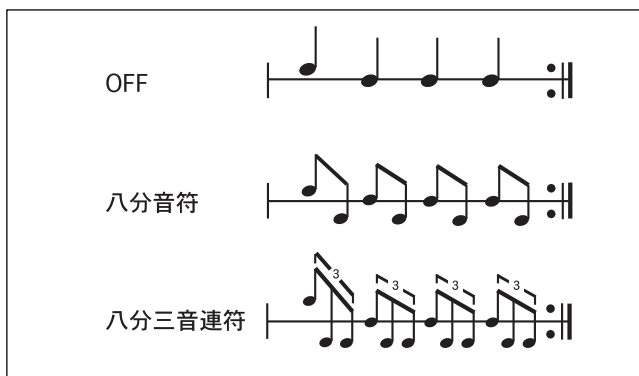
② 「TIME」の表示の下に、既に選ばれている拍子が白黒反転して表示されているので（初期設定では4/4が選択されています）、下の番号ボタン（2または10）を使って録音したい曲の拍子（2/4、3/4、4/4、5/4）を設定します。

③ 拍感を正確に把握して録音したい場合には、メトロノームで「裏拍」を鳴らすことができます。「TIME」の右に表示されている「UP BEAT」の表示のところで、下の番号ボタン（3または11）を使って「♪」または「♪3」を選択します。下に各選択肢によるメトロノームの鳴り方を示しました。



④ メトロノームの設定が終わったら、「OK」表示の下にある8番ボタンを押して「16TRACKS」画面に戻ります。

【メトロノームの鳴り方】



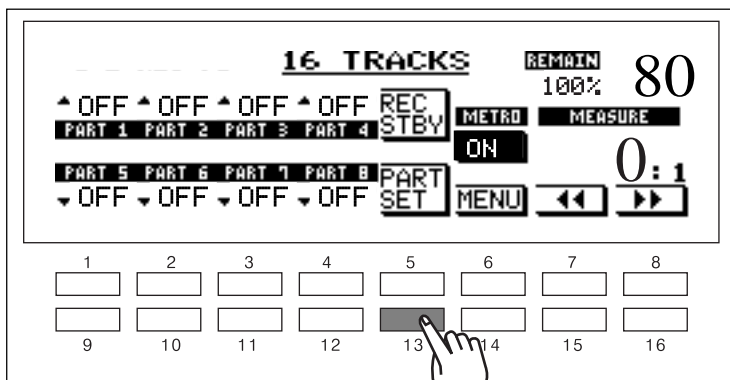
3 テンポを設定する

ディスプレイの右側にあるテンポつまみを使って録音時のテンポを設定します。

すべてのパートの録音終了後に曲全体のテンポ調整ができますので、録音時のテンポは、演奏しやすいテンポに設定するといいでしょう。

4 録音するパートを選択する

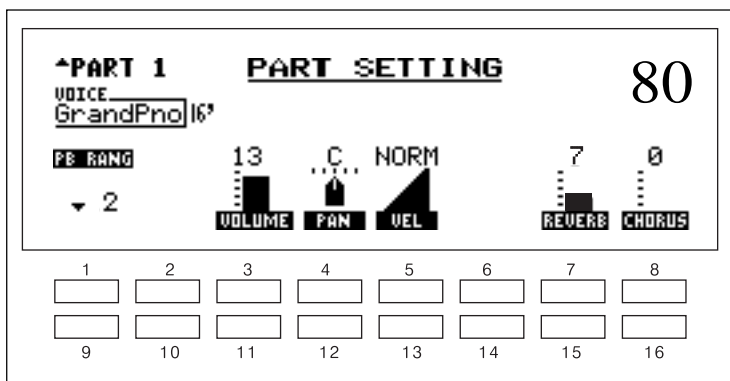
- ① 「16TRACKS」画面の中央下部にある「PART SET」表示の下の番号 ボタン (13) を押します。



- ② ボタンを押すと中央上部に「PART SETTING」と表示された画面になります。最初に表示されてい

る画面はパート1の画面ですので、他のパートの録音をする場合には、ディスプレイの左側にある【ページ上がる/下がる】ボタンを使って録音したいパートの画面を表示させます。(どのパートの画面になっているかは画面の左上に表示されます)

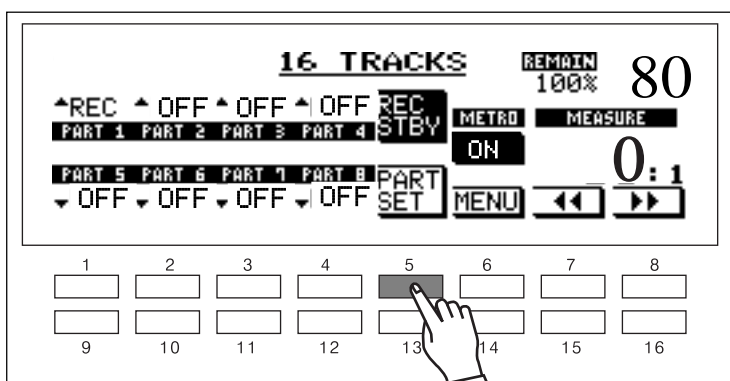
ここで音色を選んでください。(本書 p10 を参照)



- ③ 録音したいパートの選択が終わったら、8番ボタンの右側にある【メニュー/戻る】ボタンを押して 16TRACKS 画面に戻ります。

- ④ 画面の中央に表示された「REC STBY」に対応する番号ボタン (5) を押します。

ボタンを押すと画面中央上部の「REC SYBY」の文字が白黒反転して表示され、選択したパートの「OFF」の表示が「REC」に変わり、メトロノームが鳴り始めます。

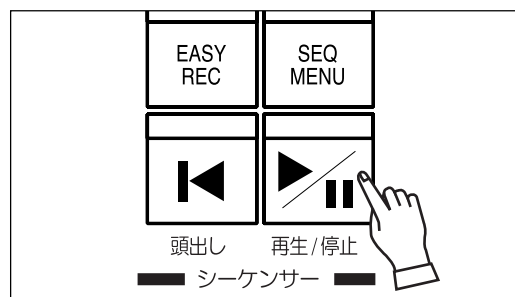


5 演奏を録音する

(1) 【再生/停止】スイッチを押します。

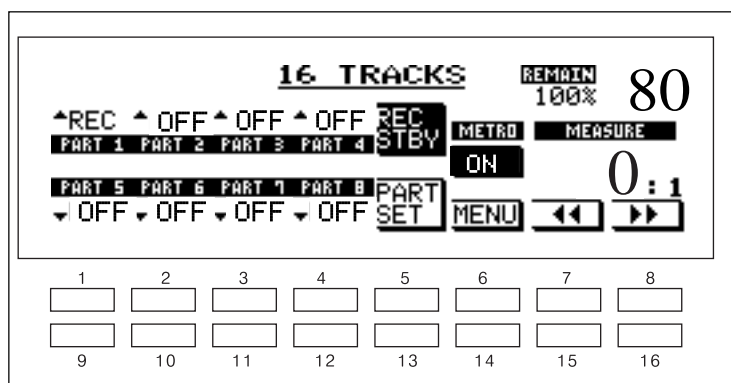
スイッチを押すと2小節のカウントダウンが始まり、ディスプレイの右端 (MEASURE) にカウントが表示されます。

(例えば4/4拍子ならば、「-2:1、-2:2、-2:3、-2:4、-1:1、-1:2、-1:3、-1:4」が表示されます)



(2) 2小節のカウントダウンが終わったら演奏を始めます。

アウトタクト (弱起) の曲の場合には、カウントダウンの2小節目から演奏を始めます。



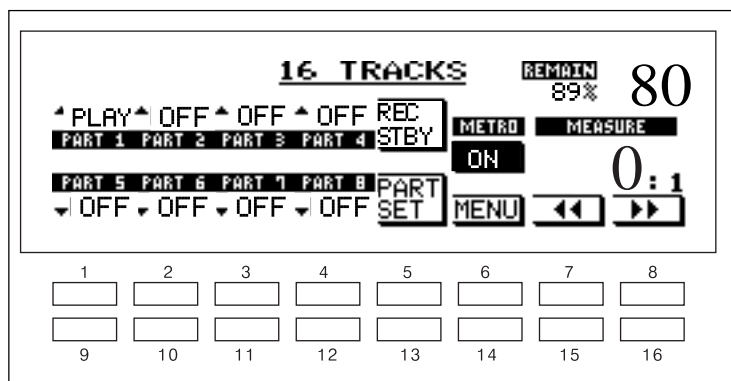
(3) 曲の演奏が終わったら、【再生/停止】スイッチを押して録音をやめます。

(4) 録音が終わったパートに関しては、「OFF」の表示が「PLAY」に変わります。

他のパートを録音する際には、既に録音されたパートが同時に演奏されます。

3～5の手順を繰り返して、全てのパートの録音をおこないます。

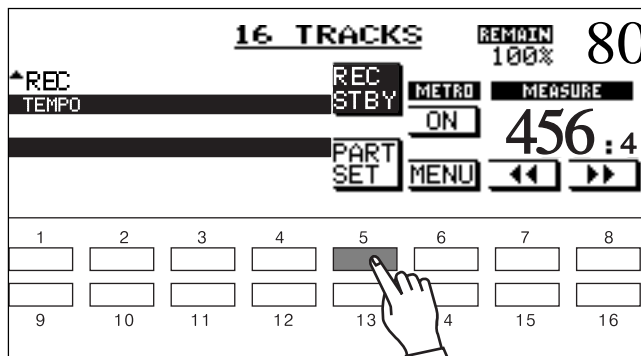
※1パートのみ録音をやり直したい場合には、再録音したいパートを選び同様の手順で録音し直します。



6 テンポを調整する

全てのパートの録音が終わったら、テンポの調整をおこないます。

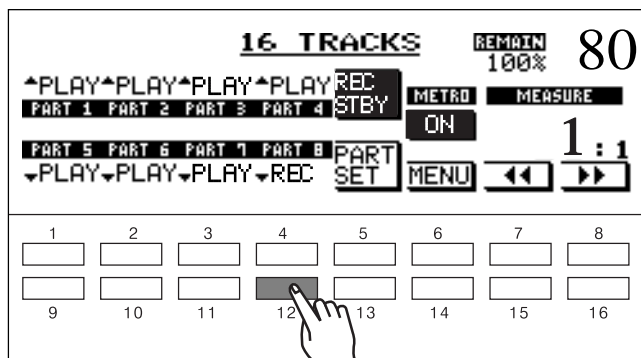
- ① 「16TRACKS」画面において、テンポつまみの下にある【パート/エディット】ボタンを1～2回押すと、右の図のような画面になります。



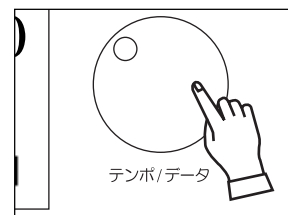
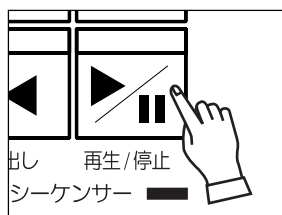
- ② 各パートの録音と同様に、「REC STBY」に対応する番号ボタン（5）を押すと、文字が白黒反転され、メトロノームが鳴り始めます。

- ③ 【パート/エディット】ボタンを1～2回押して、最後に録音したパート表示のページにし、【メニュー/戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

- ④ ②の操作をおこなうと、最後に録音したパート表示は「REC」になるので、下の対応する番号ボタン（1～4、9～12）を押して「PLAY」の表示にします。



- ⑤ 【再生/停止】スイッチを押すと、2小節のカウントダウンが入り、録音した演奏が始まりますので、テンポつまみを使って自由にテンポを設定してください。



7 録音した演奏を聴く

1～6までの操作が終了し、録音が終わると【頭出し】スイッチが点灯します。これはXE-1のメモリーに録音した曲が存在し、曲の再生が可能であることを意味していますので、【再生/停止】スイッチを押して再生し、録音した演奏を聴いてみましょう。

2 録音した演奏をフロッピーディスクへ保存する

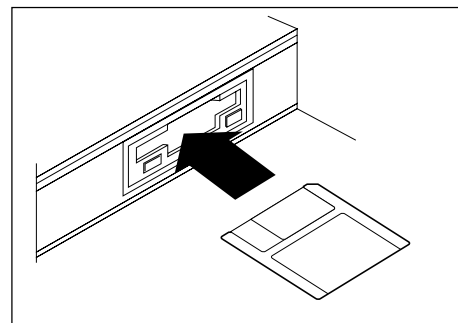
1 フロッピーディスクを入れる

ディスクラベル面を上にして、ディスク挿入口へ押し込みます。

ディスクを挿入すると、挿入口の右側にあるイジェクトボタンが飛び出します。

ディスクを取り出す際には、このボタンを押して取り出します。

データの保存中や読み込み中には、ディスク挿入口の左側のランプが点灯します。



※注意

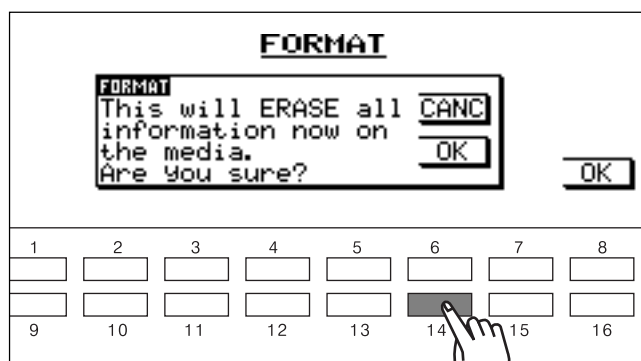
ランプの点灯中はフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データ消失の恐れがあります。

(フォーマットについて)

フォーマット（初期化）されていないフロッピーディスクを入れると、フロッピーディスクをフォーマットするかどうかをたずねる画面になりますので、「OK」に対応する下の番号ボタン（14）を押してフォーマットをおこなってください。

※注意

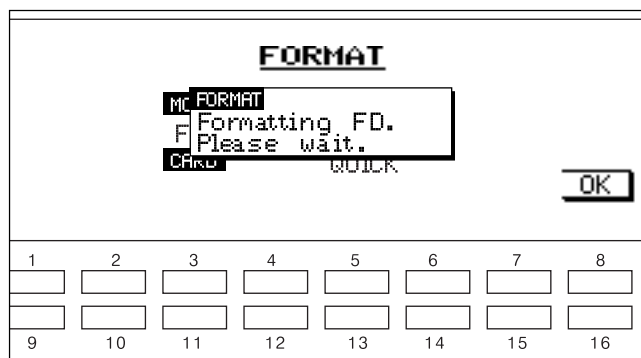
フォーマットすると、すでに録音されていた内容はすべて消えてしまいますのでご注意ください。



フォーマットには約1分かかります。その間ディスプレイには、右側のようなメッセージが表示されます。

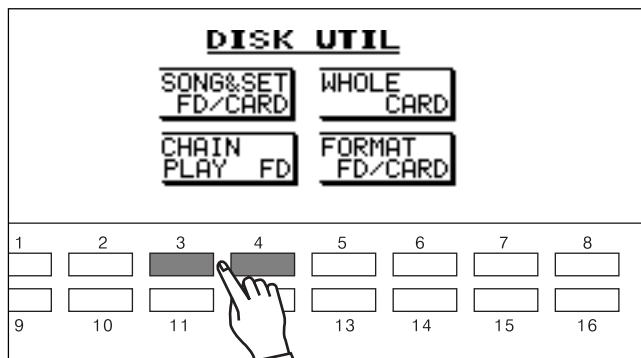
※注意

この表示が出ている間はフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データ消失の恐れがあります。



2 操作画面を呼び出す

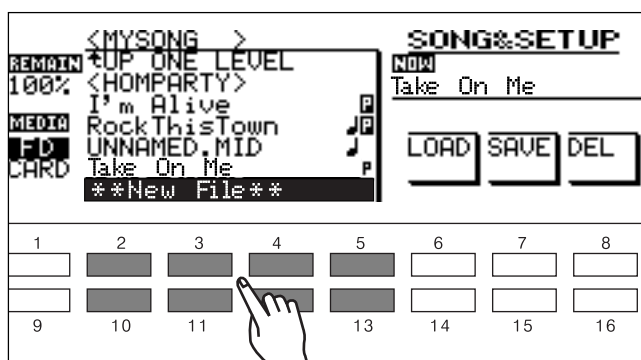
①メインディスプレイの一番左上にある【ディスク】スイッチを押すとディスプレイは中央上部に「DISK UTIL」と表示のある画面になります。



②画面表示の「SONG&SET FD/CARD」に対応する番号ボタン(3または4)を押すとディスプレイは右上に「SONG&SET UP」と表示のある画面になります。

3 保存の準備をする

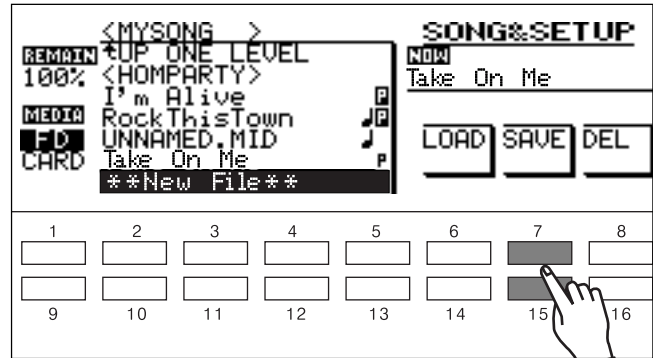
画面の中央に現在保存されている演奏の曲名が表示されていますが、下の番号ボタン(10~13)を使って「** New File **」を選択します。



※保存されている曲数が、リストの表示可能数よりも多い場合、「** New File **」の表示が見えないかもしれません。その場合は、番号ボタンを使って、リストを下にスクロールさせて見つけてください。

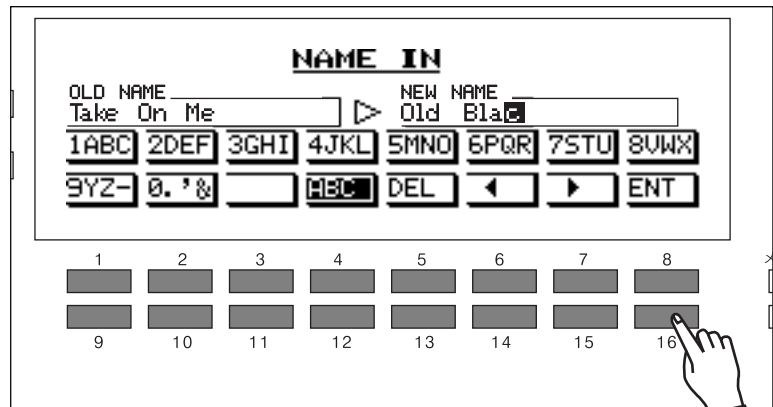
4 演奏を保存する

- ① 「** New File **」 を選択したら、「SAVE」の表示に対応する番号ボタン（7または15）を押します。



- ② ディスプレイが中央上部に「NAME IN」と表示のある画面になりますので、曲名を入力します。文字入力には、画面表示に対応した下の番号ボタンを使います。

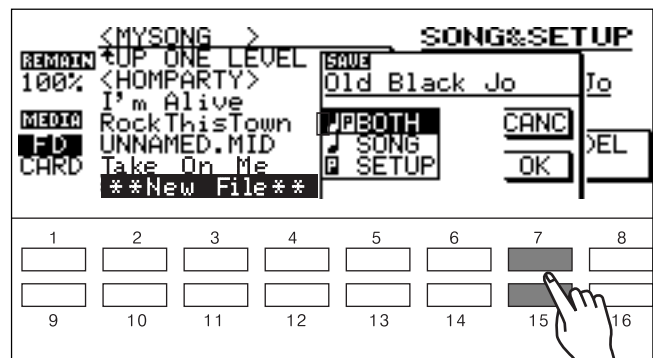
例えば「1ABC」のいずれかを入力したい場合には1番のボタンを使います。カーソルの位置の文字を消すには13番、カーソルを前後に移動するには14番または15番のボタンを使います。



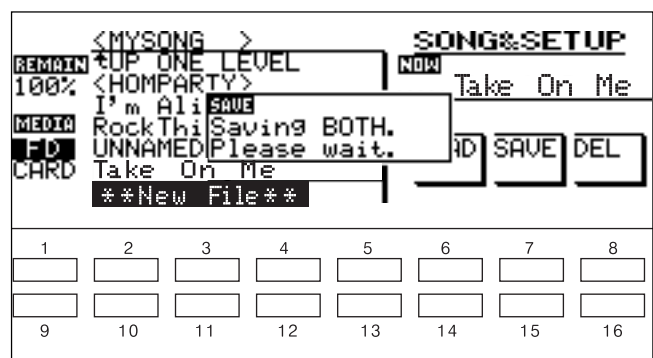
- ③ 入力が終わったら「ENT」の表示に対応する数字ボタン（16）を押します。

- ④ ディスプレイは左上に「SAVE」と表示のある画面になります。

このまま保存する場合には15番のボタン、キャンセルする場合には、7番のボタンを押します。



- ⑤ フロッピーへの保存が始まると右のような画面になります。保存が終了すると、元の画面に戻ります。



※注意

この表示が出ている間はフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データ消失の恐れがあります。

3. フロッピーディスクの読み込み

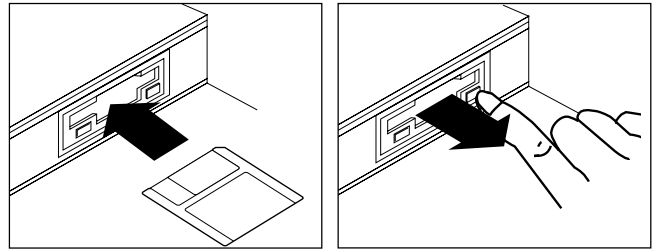
1 フロッピーディスクを入れる

ディスクラベル面を上にして、ディスク挿入口へ押し込みます。

ディスクを挿入すると、挿入口の右側にあるイジェクトボタンが飛び出します。

ディスクを取り出す際には、このボタンを押して取り出します。

データの保存中や読み込み中には、ディスク挿入口の左側のランプが点灯します。



※注意

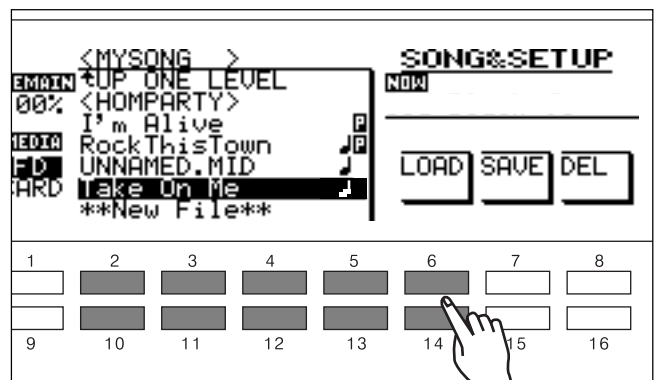
ランプの点灯中はフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データ消失の恐れがあります。

2 選曲する

フロッピーディスクを挿入すると、ディスプレイが「SONG & SETUP」画面になります。

①画面に表示されている曲名のなかから、再生したい曲を下の番号ボタン(2-5または10-13)で選択します。選択された曲名は、白黒反転して表示されます。

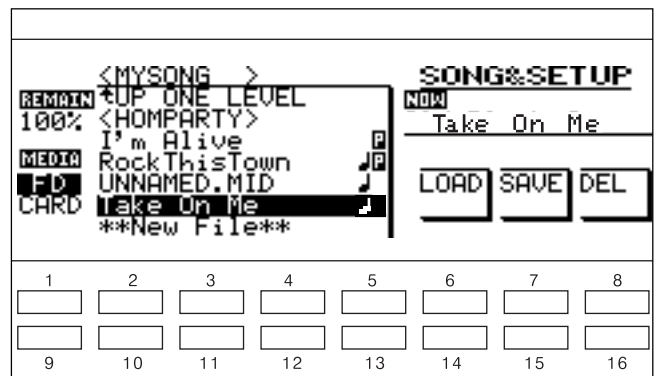
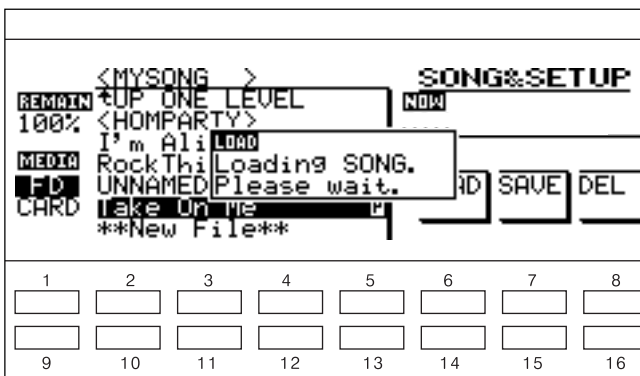
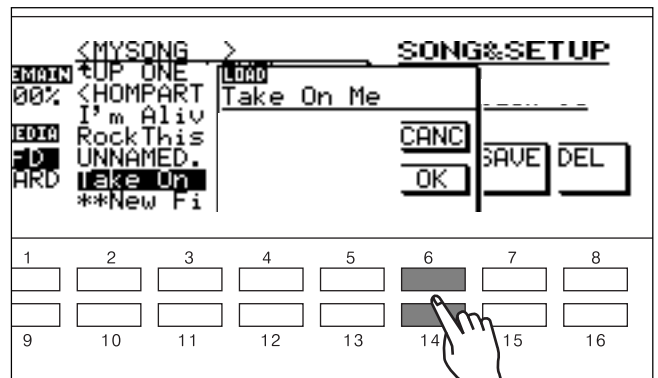
②曲を選択したら、「LOAD」(読み込み)の下にある番号ボタン(6または14)を押します。



3 読み込む

「LOAD」を選ぶと、2の画面の上に小さな画面が表示されます。このまま曲を読み込む場合には14番、キャンセルする場合には6番のボタンを押します。

読み込みが終わると、ディスプレイは下のよう表示になります。



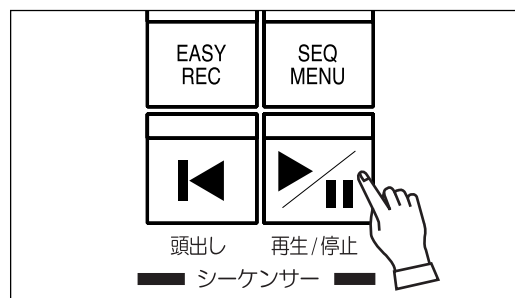
※注意

この表示が出ている間はフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データ消失の恐れがあります。



4. 演奏を聴いてみよう

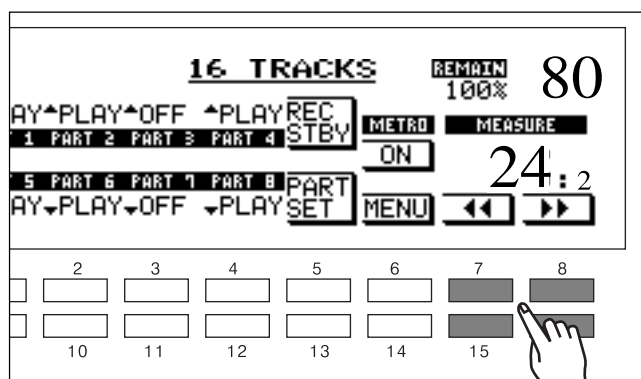
① 曲を再生する

曲の読み込みが終わると、【シーケンサー】グループのなかの【頭出し】スイッチが点灯します。これは、XE-1の本体内に曲が存在し、その曲の再生が可能であることを意味します。その右側にある【再生/停止】スイッチを押すと曲の演奏が始まります。



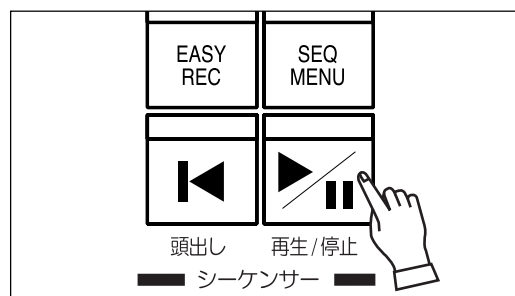
② 巻戻し・早送りをする

曲の演奏が始まると、ディスプレイは中央上部に「16TRACKS」と表示された画面になります。巻戻しをしたい場合には、 マークのある下の番号ボタン (7または15) を押してください。早送りをしたい場合には、 マークのある下の番号ボタン (8または16) を押してください。



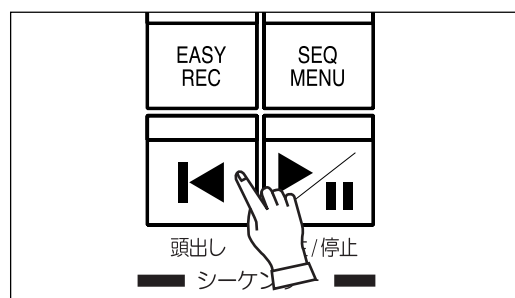
③ 一時停止をする

一時停止をしたい場合には、【再生/停止】スイッチを押してください。曲を止めた位置からもう一度聴きたい場合には、再度【再生/停止】スイッチを押してください。また、曲をもう一度最初から聴きたい場合には、【頭出し】スイッチを押し、それから【再生/停止】スイッチを押してください。



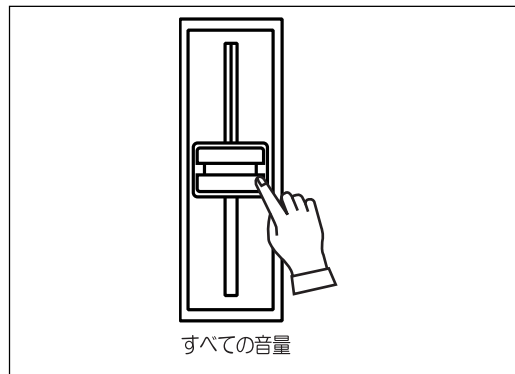
④ 曲を止める

曲を止める場合には、【頭出し】スイッチを押します。



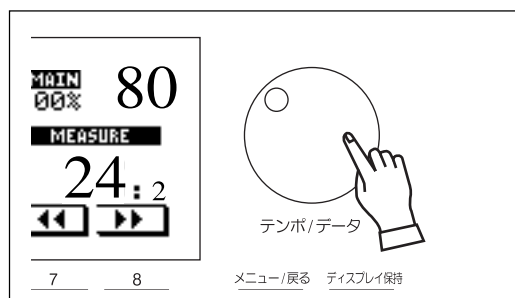
5 音量を調整する

曲全体の音量を調整する場合は、主音量スライダー【すべての音量】で調整します。



6 テンポを調整する

テンポは、テンポつまみで調整します。テンポの範囲は=40～300BPM（拍/分）で表示されます。

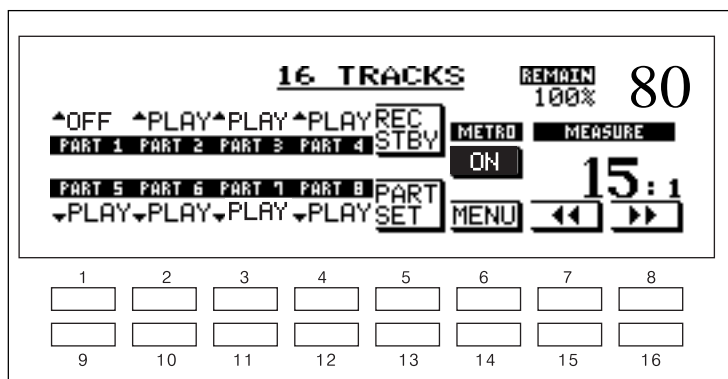


5. いっしょに歌って（演奏して）みよう

旋律の部分の演奏を消して歌ったり演奏したりしてみましょう。

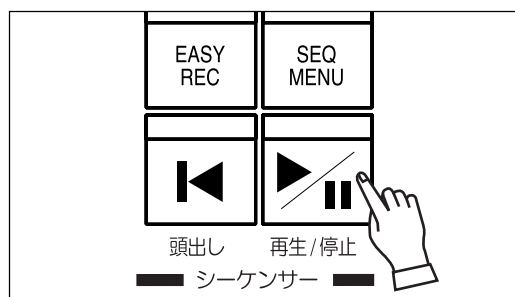
① 旋律の演奏を OFF にする

曲を一度再生すると、ディスプレイは中央上部に「16TRACKS」と表示された画面になります。旋律が演奏されているパートの下の数字ボタンを押し、（パート1なら1番）「PLAY」の表示を「OFF」にします。



② 曲を再生する

【再生/停止】スイッチを押すと、「OFF」に設定したパートの演奏が消え、「PLAY」と表示されたパートの演奏が始まります。



オーケストラボイス (内蔵音色) リスト

音色スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名	
ピアノ	StGdPno	ステレオ グランドピアノ	
	BrStGPno	ブライト ステレオグランドピアノ	
	GrndPno	アコースティック グランドピアノ	
	Brtpno	ブライトピアノ	
	DarkPno	ダークピアノ	
	HnktPno	ホンキートンクピアノ	
	PnoOct1	オクターブピアノ1	
	PnoOct2	オクターブピアノ2	
	EGndPno	エレКТРИック グランドピアノ	
	Hrpschrd	ハーブシコード	
	HrpsCoup	カップルド ハーブシコード	
エレКТРИックピアノ	ElecPno1	エレКТРИックピアノ1	
	EPnoDet1	デチューンド エレКТРИックピアノ1	
	EPnoVel1	エレКТРИックピアノ1 ベロシティ	
	TremEPno	トレモロエレКТРИックピアノ	
	EPno60's	60'S エレКТРИックピアノ	
	ElecPno2	エレКТРИックピアノ2	
	EPnoDet2	デチューンド エレКТРИックピアノ2	
	EPnoVel2	エレКТРИックピアノ2 ベロシティ	
	Clav	クラビ	
クロマチックパーカッション	Vibe	ビブラフォン1	
	Vibe Vb	ビブラフォン2	
	Gloken	グロッケンシュビール	
	GlokX-66	グロッケンシュビール X-66	
	Celesta	チェレスタ	
	MuscBox	ミュージックボックス	
	TnklBell	ティンクルベル	
	Marimba	マリンバ	
	Xylophon	シロフォン	
	Chime	チューブラベル	
	OrgnChim	オルガンチャイム	
	ChurBell	チャーチベル	
	Carillon	カリヨン	
	Dulcimr	ダルシマー	
	Agogo	アゴゴ	
	StelDrum	スチールドラム	
	WoodBlok	ウッドブロック	
	Castanet	カスターネット	
	Mokugyo	木魚	
	MeloTom1	メロディックタム1	
	MeloTom2	メロディックタム2	
	SynTom	シンセタム	
	AnlgTom	アナログタム	
	RevCym1	リバース シンバル1	
	RevCym2	リバース シンバル2	
	ギター	NylnGtr.	ナイロン ストリングギター
		Uku-lele	ウクレレ
		StelGtr.	スチール ストリングギター
		12stGtr.	12弦ギター
		N&SGtr.	ナイロン+スチールギター
JazzGtr.		ジャズギター	
MuteGtr.		ミュートギター	
CtryGtr.		カントリーギター	
ClenGtr.		クリーンギター	
ChrsGtr.		コーラスギター	
HawiGtr.		ハワイアンギター	
OvdrGtr.		オーバードライブギター	
DistGtr.		ディストーションギター	
FdbkGtr.		フィードバックギター	
PowrGtr.		パワーギター	
RockRhy.		ロックリズム	
MtDsGtr.		ミュートディストーションギター	
FunkGtr.		ファンクギター	
WahGtr.		ワウギター	
Gtr.Harm		ギターハーモニクス	
Gtr.Fdbk		ギターフィードバック	

音色スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名	
アコーディオン	Acrd .	アコーディオン 1/0/0	
	Acrd ..	アコーディオン 1/1/0	
	Acrd . .	アコーディオン 1/0/1	
	Acrd ...	アコーディオン 1/1/1	
	Acrd .	アコーディオン 0/1/0	
	Acrd ..	アコーディオン 0/1/1	
	Acrd .	アコーディオン 0/0/1	
	Acrd ..	アコーディオン 1/2/0	
	Acrd .:	アコーディオン 1/2/1	
	Acrd :	アコーディオン 0/2/0	
	Acrd .:	アコーディオン 0/2/1	
	Musette	ミュゼット	
	オルガン&金属リード楽器	ChurOrg1	チャーチオルガン 1 (パイプ)
		ChurOrg2	チャーチオルガン 2 (パイプ)
ChurOrg3		チャーチオルガン 3 (パイプ)	
Positiv1		ポジティブオルガン 1 (パイプ)	
Positiv2		ポジティブオルガン 2 (パイプ)	
Bourdon		ブルドン 1 (パイプ)	
StopFlut		ブルドン 2 (パイプ)	
StFl8&4		ストップフルート 8'&4' (パイプ)	
StFl8&2		ストップフルート 8'&2' (パイプ)	
StFl8&23		ストップフルート 8'&2 2/3' (パイプ)	
Diapasn		ダイヤパーソン (パイプ)	
Prin8&4		プリンシパル 8' & 4' (パイプ)	
PrinChrs		プリンシパルコーラス&ミクスチャー (パイプ)	
Gamba		ガンバ (パイプ)	
GambClst		ガンバセレスト (パイプ)	
OboeHorn		オーボエ (パイプ)	
Trompett		トランペット (パイプ)	
Mix III		ミクスチャーIII (パイプ)	
Mix IV		ミクスチャーIV (パイプ)	
Harmnica		ハーモニカ (リード)	
Melodion		メロディオン (リード)	
ReedOrgn		リードオルガン (リード)	
Novacd s		ノバコード サスティン (アナログ)	
Novacd d		ノバコード ディケイ (アナログ)	
OrgnDiap		オルガンディアパーソン (アナログ)	
OrgnTrpt		オルガントランペット (アナログ)	
OrgnViln	オルガンバイオリン (アナログ)		
OrgnCelo	オルガンチェロ (アナログ)		
OrgnHorn	オルガンホルン (アナログ)		
Kinura	キヌラ (アナログ)		
Theater1	シアターオルガン1 (アナログ)		
Theater2	シアターオルガン2 (アナログ)		
Theater3	シアターオルガン3 (アナログ)		
VoxHumn	ボックス ヒューマナ (アナログ)		
DrwbOrgn	ドロワーオルガン (ハモンド)		
DetOrg1	デチューンドエレКТРИックオルガン (ハモンド)		
60'sOrgn	60'S オルガン (ハモンド)		
Db60Orgn	ドロワー +60'S オルガン (ハモンド)		
PercOrgn	パーカッシブオルガン (ハモンド)		
DetOrg2	デチューンドエレКТРИックオルガン2 (ハモンド)		
XyloOrgn	ザイロオルガン (ハモンド)		
RockOrgn	ロックオルガン (ハモンド)		

音色スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名	
エスニック	Sitr	シタール 1	
	SitrOct	シタール 2	
	Banjo	バンジョー	
	Kalimba	カリンバ	
	Mandolin	マンドリン	
	Shamisen	三味線	
	Tsugaru	津軽三味線	
	Koto	箏 (こと)	
	Taisho1	大正琴 1 (弁慶)	
	Taisho2	大正琴 2 (蘭 ソプラノ)	
	Taisho3	大正琴 3 (蘭タイプ II)	
	Taisho4	大正琴 4 (蘭アルト)	
	Bagpipe	バグパイプ	
	Shanai	シャナイ	
	Fiddle	フィドル	
	Kokyu	胡弓	
	Hitiriki	箏 (ひちりき)	
	Shyo	笙 (しょう)	
	Sinobue	篠笛	
	Nohkan	能管	
Shakhach	尺八		
ストリングス&クワイヤー	Vlin	バイオリン	
	VlinVib.	バイオリン ピブラート	
	SlowVlin	スロー バイオリン	
	Viola	ビオラ	
	Cello	チェロ	
	CeloVib.	チェロ ピブラート	
	StroStr1	ステレオ ストリングス 1	
	StroStr2	ステレオ ストリングス 2	
	Strg1	BBD ストリングス	
	DullStr1	ダルBBD ストリングス	
	Strg2	ストリングス	
	DullStr2	ダル ストリングス	
	SlowStrg	スロー ストリングス	
	DetStrng	デチューンド ストリングス	
	PizzStrg	ピチカート ストリングス	
	TremStrg	トレモロ ストリングス	
	Orchestr	オーケストラ	
	OrchHit	オーケストラ ヒット	
	SynStr1	シンセ ストリングス 1	
	SynStr2	シンセ ストリングス 2	
	SynStr3	シンセストリングス 3	
	OrchHarp	オーケストラ ハープ	
	OrgnHarp	オルガン ハープ	
	ChurChor	チャーチ クワイヤー	
	AahChor	アークワイヤー	
	SlowChor	スロー クワイヤー	
	SynVox	シンセ ボイス	
	DooVox	ドゥーボイス	
	BopVox	バップボイス	
	金管楽器	Trpt	トランペット 1
		BritTrpt	トランペット 2
		SlowTrpt	スロー トランペット
MuteTrpt		ミュートトランペット	
Trombone		トロンボーン 1	
SynTrbn		トロンボーン 2	
MelwTrbn		トロンボーン 3	
BrasSect		ブラスセクション 1	
Bras&Tp.		ブラスセクション 2	
BrasFall		ブラス フォールドダウン	
BrasOct		オクターブ ブラ	
FrHrSect		フレンチホルン	
FrHnClos		フレンチホルン クローズ	
FrHnOpen		フレンチホルン オープン	
FlugHorn		フリューゲルホルン	
SynBrs1		シンセ ブラ 1	
SynBrs2		シンセ ブラ 2	
SynBrs3		シンセ ブラ 3	
SynBrs4		シンセ ブラ 4	
AnaBrs1		アナログ ブラ 1	
AnaBrs2		アナログ ブラ 2	

音色スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名
木管楽器 (リード)	SprnSax	ソプラノサククス
	SpSxVb	ソプラノサククス ピブラート
	AltoSaxf	アルトサククスf
	AltoSaxp	アルトサククスp
	TenrSaxf	テナーサククスf
	TnSxVb	テナーサククスピブラート
	OvbrSax	オーバーブロー サククス
	TnSxVl	テナーサククス ベロシティ
	TenrSxp1	テナーサククス p1
	TenrSxp2	テナーサククス p2 (XT)
	BariSax	バリトンサククス
	Oboe	オーボエ
	EnglHorn	イングリッシュホルン
	Bassoon	バスーン
	Clarinet	クラリネット
	SlowCla.	スロー クラリネット
木管楽器 (パイプ)	Flut1	フルート 1
	TremFlut	フルート 2 (トレモロフルート)
	BrthFlut	フルート 3 (ブレスフルート)
	Flut2	フルート 4 (XT)
	Piccolo	ピッコロ
	Recorder	リコーダー 1
	Recorderf	リコーダー 2
	PanFlut	パンフルート
	BotlBlow	ボトル ブロー
	Whistle	ホイッスル
Ocarina	オカリナ	
シンセサイザー	SqurLead	スクエア リード
	SawLead	ソーリード
	Dr.Solo	ドクター ソロ
	CaliopLd	カリオペ リード
	ChifLead	チファー リード
	CharngLd	チャレンジ リード
	VoxLead	ボイス リード
	5thLead	フィフス リード
	Bass&Ld	ベース&リード
	BsLdVel	ベース&リード ベロシティ
	NewAge	ニューエイジパッド
	WarmPad	ウォームパッド
	Polysyn.	ポリシンセパッド
	ChorPad	クワイヤーパッド
	BowdPad	ボードパッド
	MetlPad	メタルパッド
	HaloPad	ハローパッド
	SwepPad	スウィープパッド
	IceRain	アイスレイン
	Sndtrak	サウンドトラック
	Crystal	クリスタル
	SynMalt	シンセマレット
	Atmspher	アトモスフィア
	Bright	ブライトネス
	Goblin	ゴブリン
	EchoDrop	エコードロップ
	EchoBell	エコーベル
	EchoPan	エコーパン
	Sci-Fi	サイエンスフィクション
	Square	方形波
	Sine	正弦波
	Saw	のこぎり波
Step8	階段波 (8段)	
Step4	階段波 (4段)	
WhitNois	ホワイトノイズ	
PinkNois	ピンクノイズ	

音色スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名
エスニック	AcosBas1	アコースティック ベース1
	AcosBas2	アコースティック ベース2
	FngrBas1	フィンガーベース 1
	FngrBas2	フィンガーベース 2
	PickBass	ピックベース
	FrtlesBs	フレットレスベース
	SlapBas1	スラップベース 1
	SlapBas2	スラップベース 2
	SynBas1	シンセベース 1
	SynBas2	シンセベース 2
	SynBas3	シンセベース 3
	SynBas4	シンセベース 4
	SynBas5	シンセベース 101
	RubrBass	ラバーベース
	Contrbas	コントラバス
	Tuba	チューバ
	Timpani	ティンパニ
	Fagotto	ファゴット
	GambPdl	ガンバペダル
	EX Bass	EXベース
Taisho5	大正琴 5 (蘭バス)	
ドラムセット	Standard1	スタンダード 1セット
	Standard2	スタンダード 2セット
	Room	ルームセット
	Power	パワーセット
	Electro	エレクトロニックセット
	Analog	アナログセット
	Jazz	ジャズセット
	Brush	ブラシセット
	Orchestr	オーケストラセット
	SFX	SFXセット
	Japanese	和太鼓セット

効果音リスト

ページ	分類	ディスプレイ上の表示	音色名	効果音の種類
1	NATURE	Seashor	波の音	連続的
		Stream	川のせせらぎ	連続的
		Rain	雨	連続的
		Bubble	泡の音	連続的
		Thunder	雷	一時的
		Wind	風	連続的
		Wind Chime	ウィンドチャイム	連続的
		Bird Twee	鳥のさえずり (1)	一時的
		Bird Twe2	鳥のさえずり (2)	一時的
		Dog Bark	犬の声	一時的
		Hors Galp	馬の駆け足	一時的
2	LIFE	Telepho 1	電話のベル (1)	連続的
		Telepho 2	電話のベル (2)	連続的
		Door Crea	ドアがきしむ音	一時的
		Door Slam	ドアが閉まる音	一時的
		Scratch	スクラッチ	一時的
		Applause	拍手	連続的
		Punch	パンチ	一時的
		Laughing	笑い声	一時的
		Scream	叫び声	一時的
		Foot Step	足音	一時的
		Hear Beat	鼓動	一時的
3	TRAFFIC	Car Engi	車のエンジン音	連続的
		Car Pass	車の通過音	一時的
		Car Stop	車の停止音	一時的
		Car Crsh	車の衝突音	一時的
		Siren	サイレン	連続的
		Brst Nois	破裂音	連続的
		Helicpt	ヘリコプター	連続的
		Jet Plan	ジェット機	連続的
		Star Ship	宇宙船	一時的
		Train	電車	連続的
		Stea Loco	SL機関車	連続的
		SL Whis	SL機関車の汽笛	一時的
		4	HIT&FIRE	Tubl Bell
Orga Chim	オルガンチャイム			一時的
Chrc Bell	教会の鐘			一時的
Cymb Roll	シンバルロール			連続的
Gong	ドラ			一時的
Crsh Cymb	シンバル			連続的
Gun Shot	ピストル			一時的
Mach Gun	マシンガン			連続的
Lase Gun	レーザー銃			一時的
Explosio	爆発音			一時的

ドラムセットリスト

※XE-1には1C~1Bの音域の鍵盤はありませんが、オクターブ機能を使うと下記のすべての音色を鳴らすことができます。

空白 : スタANDARD1セットの打楽器音と同じ

---- : 無音

[EXC] : 同じ番号の打楽器音は鳴らない

* : 使用ボイス数が2の打楽器 (その他の打楽器音はすべて使用ボイス数が1です)

ノートナンバー		Standard1	Standard2	Room	Power	Electro	Analog
番号	音名	スタンダード1セット	スタンダード2セット	ルームセット	パワーセット	エレクトロニックセット	アナログセット
	24	1C	Tabla Te				Analog CHH 2 [EXC7]
	25	1C#	Tabla Tun				----
	26	1D	Tabla Ge				Analog OHH 2 [EXC7]
	27	1D#	High Q				
	28	1E	Slap				
	29	1F	Scratch Push				
	30	1F#	Scratch Pull				
	31	1G	Sticks				
	32	1G#	Square Click				
	33	1A	Metronome Click				
	34	1A#	Metronome Bell				
	35	1B	Standard 1 Kick Drum 2	Std 2 Kick Drum 2	Room Kick Drum 2		Analog BD 2
	36	2C	Standard 1 Kick Drum 1	Std 2 Kick Drum 1	Room Kick Drum 1	MONDO Kick	Analog BD 1
	37	2C#	Side Stick				Analog Rim Shot
	38	2D	Standard 1 Snare Drum 1	Std 2 Snare Drum 1	Room Snare Drum 1	Gated SD	Analog SD 1
	39	2D#	Hand Clap				
	40	2E	Standard 1 Snare Drum 2	Std 2 Snare Drum 2	Room Snare Drum 2		Analog SD 2
	41	2F	Low Tom 2		Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	Analog Low Tom 2
	42	2F#	Closed Hi-hat [EXC1]				Analog CHH 1 [EXC1]
	43	2G	Low Tom 1	Room Low Tom 1	Room Low Tom 1	Elec Low Tom 1	Analog Low Tom 1
	44	2G#	Pedal Hi-hat [EXC1]				Analog CHH 1 [EXC1]
	45	2A	Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Elec Mid Tom 2	Analog Mid Tom 2
	46	2A#	Open Hi-hat [EXC1]				Analog OHH 1 [EXC1]
	47	2B	Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Elec Mid Tom 1	Analog Mid Tom 1
	48	3C	High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2	Elec High Tom 2	Analog High Tom2
	49	3C#	Crash Cymbal 1				Analog Cymbal
	50	3D	High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	Elec High Tom 1	Analog High Tom 1
	51	3D#	Ride Cymbal 1				
	52	3E	Chinese Cymbal			Revs. Cymbal *	
	53	3F	Ride Bell				
	54	3F#	Tambourine				
	55	3G	Splash Cymbal				
	56	3G#	Cowbell				Analog Cowbell
	57	3A	Crash Cymbal 2				
	58	3A#	Vibra-slap				
	59	3B	Ride Cymbal 2				
	60	4C	High Bongo				
	61	4C#	Low Bongo				
	62	4D	Mute High Conga				Analog Hi Conga
	63	4D#	Open High Conga				Analog Mid Conga
	64	4E	Low Conga				Analog Low Conga
	65	4F	High Timbale				
	66	4F#	Low Timbale				
	67	4G	High Agogo				
	68	4G#	Low Agogo				
	69	4A	Cabasa				
	70	4A#	Maracas				Analog Maracas
	71	4B	Short Hi Whistle [EXC2]				
	72	5C	Long Low Whistle [EXC2]				
	73	5C#	Short Guiro [EXC3]				
	74	5D	Long Guiro [EXC3]				
	75	5D#	Claves				Analog Claves
	76	5E	High Wood Block				
	77	5F	Low Wood Block				
	78	5F#	Mute Cuica [EXC4]				
	79	5G	Open Cuica [EXC4]				
	80	5G#	Mute Triangle [EXC5]				
	81	5A	Open Triangle [EXC5]				
	82	5A#	Shaker				
	83	5B	Jingle Bell				
	84	6C	Bell Tree				
	85	6C#	Castanets				
	86	6D	Mute Surdo [EXC6]				
	87	6D#	Open Surdo [EXC6]				
	88	6E					
	89	6F					
	90	6F#					
	91	6G	Suzu				
	92	6G#	Finger Snap				
	93	6A	Snare Drum Roll				

リズムスタイルリスト

スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名
ワルツ	Tradit Waltz	トラディショナル ワルツ
	Orchestr Waltz	オーケストラ ワルツ
	Jazz Waltz	ジャズ ワルツ
	Organ Waltz	オルガン ワルツ
	Theatre Waltz	シアター ワルツ
	European Waltz	ヨーロッパ ワルツ
	String Waltz	ストリング ワルツ
	Classical Waltz	クラシカル ワルツ
	Viennese Waltz	ウィナー ワルツ
	Musette Waltz	ミュゼット ワルツ
	German Waltz	ジャーマン ワルツ
Slow Waltz	スロー ワルツ	
カントリー	Country Guitar	カントリー ギター
	Country Shuffle	カントリー シャッフル
	Country Rock	カントリー ロック
	Blue grass	ブルーグラス
	Hoedown	ホーダウン
ジャズ	Jazz Organ	ジャズ オルガン
	Acordion Quintet	アコーディオン クインテット
	Afro Jazz	アフロ ジャズ
	5/4 Jazz	5/4ジャズ
バラード	Swing Ballad	スウィング バラード
	Big Band Ballad	ビッグバンド バラード
	Orchstrl Strings	オーケストラ スtrings
	Organ Ballad	オルガン バラード
	Pop Vocal	ポップ ボーカル
	6/8 Balad Strings	6/8バラードストリングス
8ビート	8 Beat SoftRock	8ビート ソフトロック
	8 Beat Ballad	8ビート バラード
	8 Beat Rock	8ビート ロック
	8 Beat EasyRock	8ビート イージーロック
ダンス	Disco Samba	ディスコサンバ
	60's Dance	60'sダンス
	Acid Jazz	アシッドジャズ
	90's Disco	90'sディスコ
	House	ハウス
	90's House	90'sハウス
	Modern Dance	モダンダンス
	Ground Beat	グラウンドビート
ボサノバ	Bossa Nova	ボサノバ
	Jazz Bossa	ジャズ ボサノバ
	Organ Bossa	オルガン ボサノバ
	Modern Bossa	モダン ボサノバ
	Latin Vocal	ラテンヴォーカル
Simple Bossa	シンプル ボサノバ	
ルンバ	Rhumba	ルンバ
	Orchstrl Rhumba	オーケストラ ルンバ
	Organ Rhumba	オルガン ルンバ

スイッチの名称	ディスプレイ上の表示	音色名	
マーチ/ポルカ	March 4/4	マーチ4/4	
	March 6/8	マーチ6/8	
	Concert March 4/4	コンサート マーチ4/4	
	Concert March 6/8	コンサート マーチ6/8	
	Organ March	オルガン マーチ	
	Polka	ポルカ	
	Fast Polka	ファースト ポルカ	
	Party Polka	パーティ ポルカ	
	トラッド	Hawaiian	ハワイアン
		Baroque	バロック
Clasical Piano		クラシカル ピアノ	
Bolero 4/4		ボレロ4/4	
Broadway Show		ブロードウェイ ショー	
Console Riser		コンソール ライザー	
Jumpin' Dixie		ジャンピン ディキシー	
Fox trot		フォックストロット	
Quick step		クイックステップ	
Organ Quickstep		オルガン クイックステップ	
DanceBnd Foxtrot		ダンスバンドフォックストロット	
Gypsy		ジプシー	
Gospel 2-beat		ゴスペル 2ビート	
Gentle Reggae		ジェントル レゲエ	
Reggae Shuffle	レゲエ シャッフル		
スウィング	Dance Band Swing	ダンス バンド スウィング	
	Boogie Woogie	ビックバンド ブギーウギー	
	Combo Swing	コンボ スウィング	
	Medium Swing	ミディアム スウィング	
	Fast Swing	ファースト スウィング	
	European Swing	ヨーロッパ スウィング	
	Blues	ブルース	
	Cntmpry Blues	コンテンポラリー ブルース	
	ロック	Hard Rock	ハードロック
		Euro Rock	ユーロロック
70'sRock Guitar		70'sロックギター	
Rock &Roll		ロックンロール	
Rock Shuffle		ロックシャッフル	
Rock 5ths		ロック フィフス	
Rock Ballad		ロックバラード	
16ビート		16 Beat Funk	16ビート ファンク
	16 Beat Ballad	16ビート バラード	
	16 Beat Da n ce	16ビート ダンス	
サンバ	Samba	サンバ	
	Jazz Samba	ジャズ サンバ	
	Latin Samba	ラテン サンバ	
	Samba Lite	サンバライト	
ラテン	ChaCha Cugat	チャチャ クガット	
	Mambo Tito	マンボ ティト	
	Salsa Cntmpry	コンテンポラリー サルサ	
	ChaMambo	チャ・マンボ	
	Rhu Mambo	ル・マンボ	
タンゴ	Tango Bandoneon	タンゴ バンドネオン	
	Cntnentl Tango	コンチネンタルタンゴ	

仕様

鍵盤	61 鍵 1 段
音色群	ドローバー 9 列 (アッパー) + 9 列 (ロワー) + 2 列 (ペダル) ・ アッパー 1 ・ アッパー 2 ・ ロワー 2 ・ ロワー 1 ・ ペダル
音色数	PCM ボイス 275 ・ カスタムボイス 28 ・ ドラムセット 11
効果	レスリー ・ ビブラート ・ コーラス ・ サスティン ・ リバース SES (広がり効果) ・ 4 バンドイコライザー ・ プロコード 20 ・ サウンドエフェクト 44
リズム	スタイル 100 ・ バリエーション 4 ・ イントロ / エンディング ・ フィルイン 2 / ユーザーリズム 16 ・ ディスクスタイル 2 × 16 ・ カスタムスタイル 2 × 8 ・ マニュアルドラム 27
プリセット	コンビネーションプリセット 100 ・ リズムプリセット 100
シーケンサ	イージーレコード ・ マルチレコード ・ 16トラック
ディスクドライブ	フロッピーディスク (3.5"2DD/2HD) ・ コンパクトフラッシュカード ・ シーケンサ ・ SMF (GM) ・ セットアップ ・ オートバンドスタイル
スピーカー	バスレフ方式 13cm × 2.5cm × 2
アンプ出力	50W × 2
外部端子	外部出力 ・ 外部入力 ・ ヘッドホン ・ マイク入力 ・ マイク出力 ・ エクスプレッションペダル ・ レスリー出力 (11 ピン) ・ MIDI (IN1/IN2/OUT/THRU) ・ コンピュータ I/F (PC/MAC/MIDI)
付属品	スタンド ・ エクスプレッションペダル ・ 譜面立て
定格電圧 ・ 周波数	AC100V ・ 50/60Hz
定格消費電力	80W
寸法	幅 110 × 奥行 48 × 高さ 24cm (本体) 、 高さ 94cm (スタンド含む)
重量	35Kg (本体)